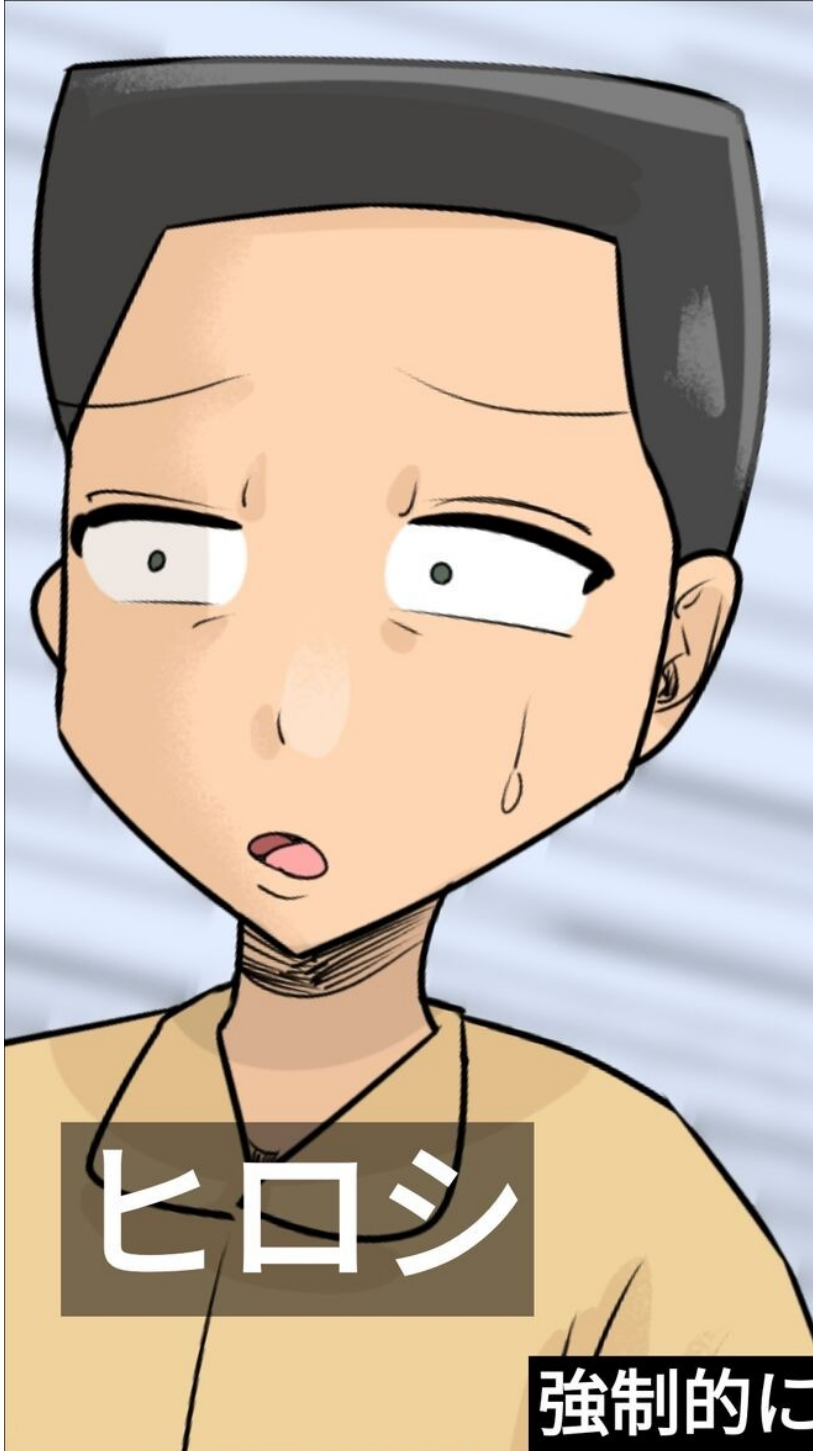




ヒロシ



リナ

強制的に熟女と結婚・子作り
させられる私の彼氏。



サエコ

20xx年…。

日本の少子化は加速し、
政府は新たな政策を発表した。

強制婚…。



結婚しそこねた人たちを
強制的にマッチングし、
結婚・出産を促す試みである。



ヒロ君…？

ねえ…ヒロ君…？

ねえ…
ヒロ君ってば…！





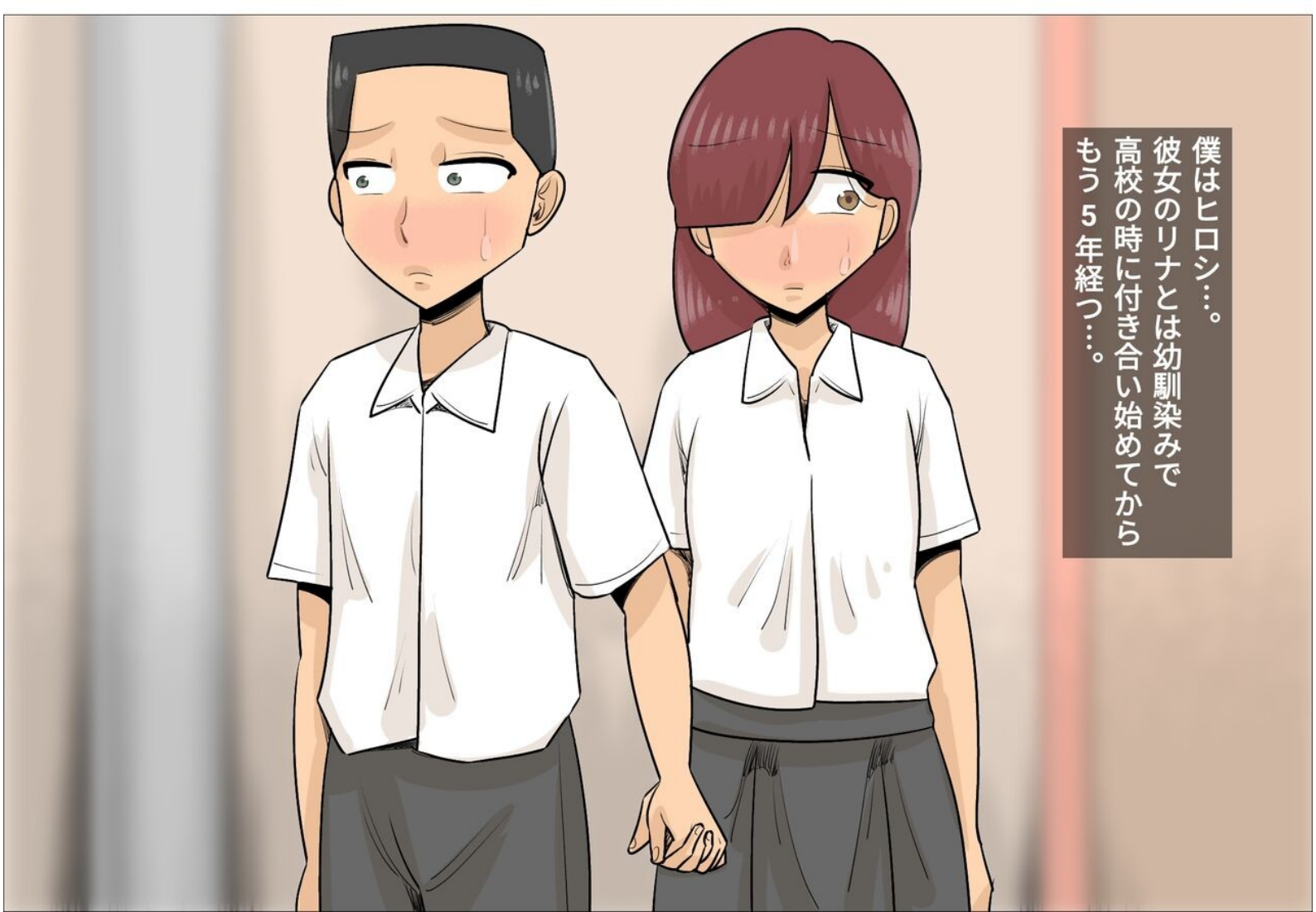
朝だよ…。
このままじゃ…。
起きれないじゃん…。



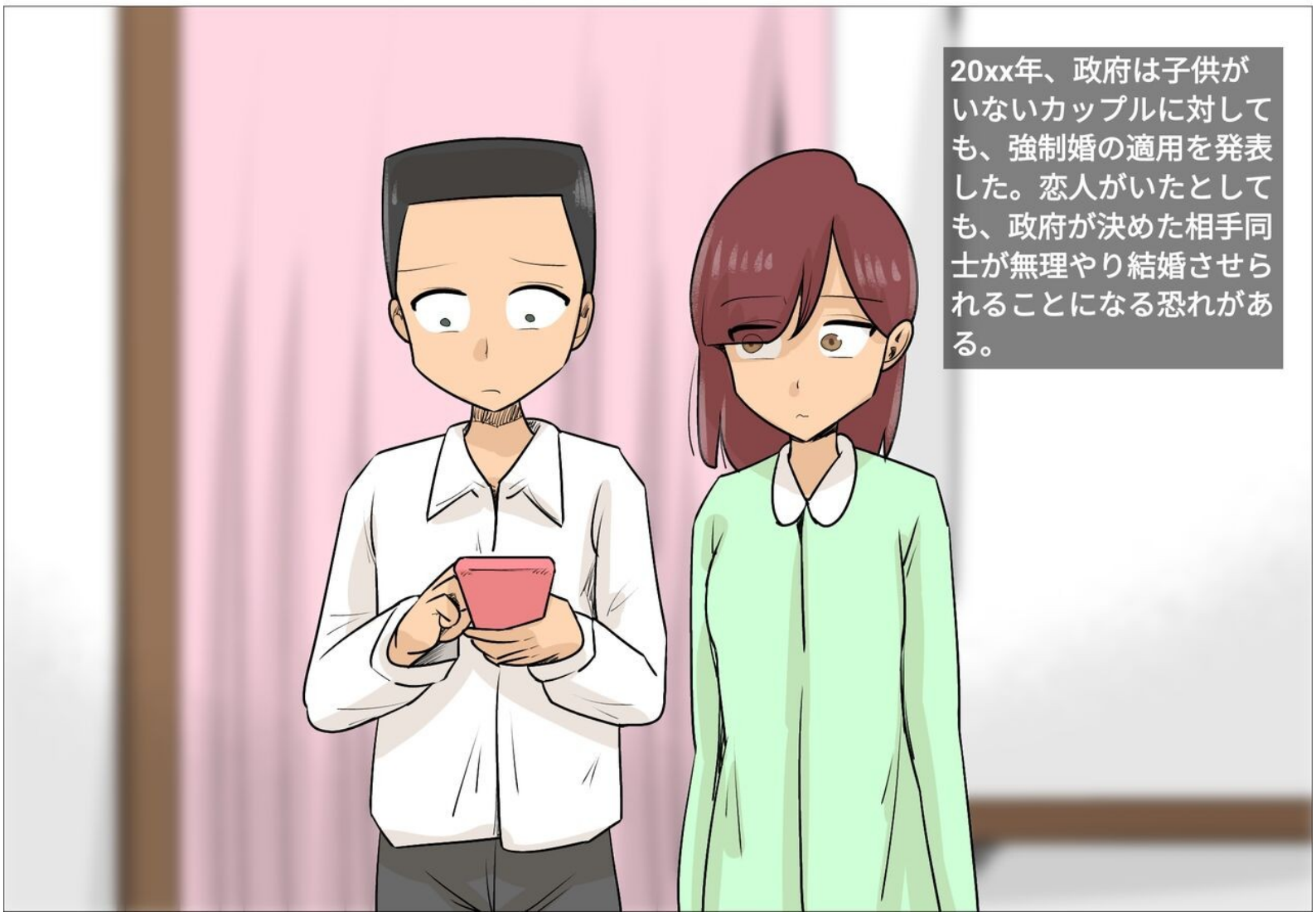
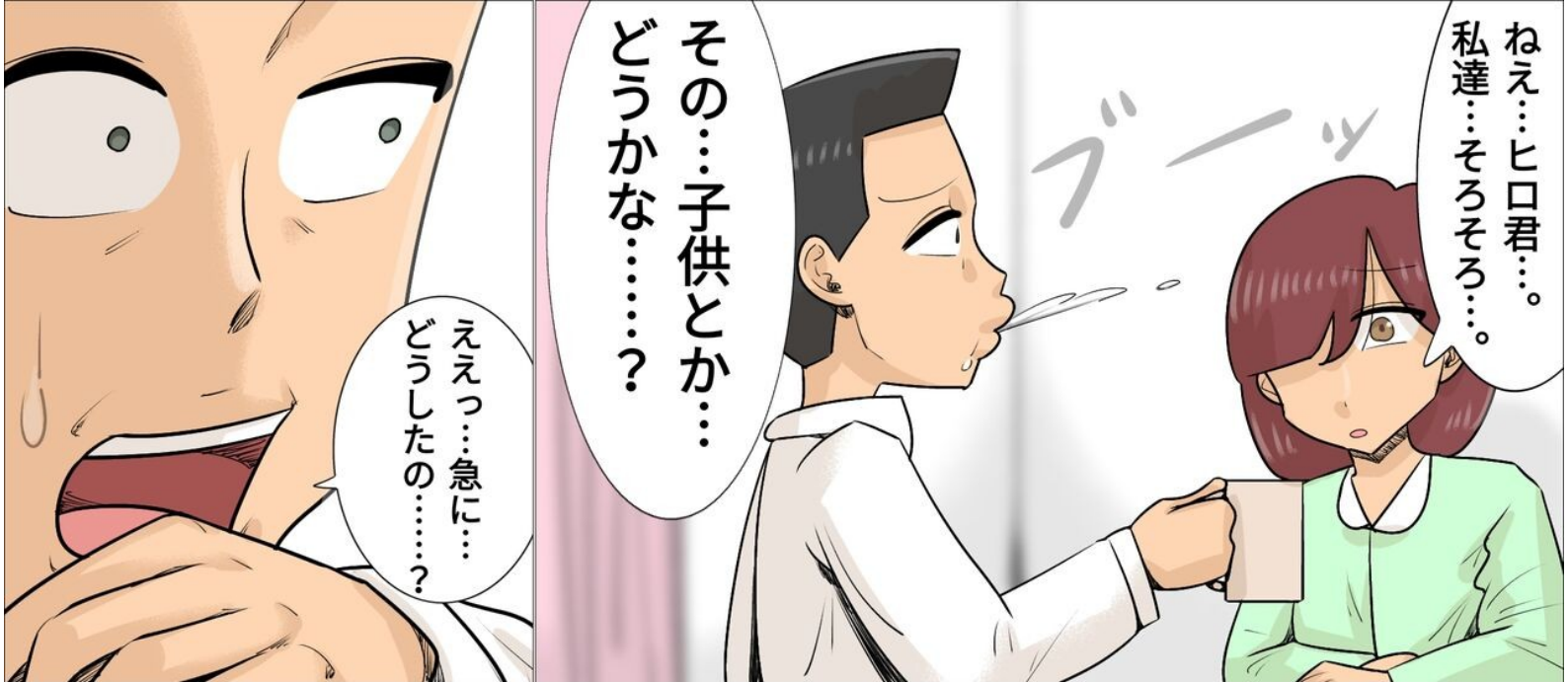
あれ…？えっと…。
なんでこんな格好に…。



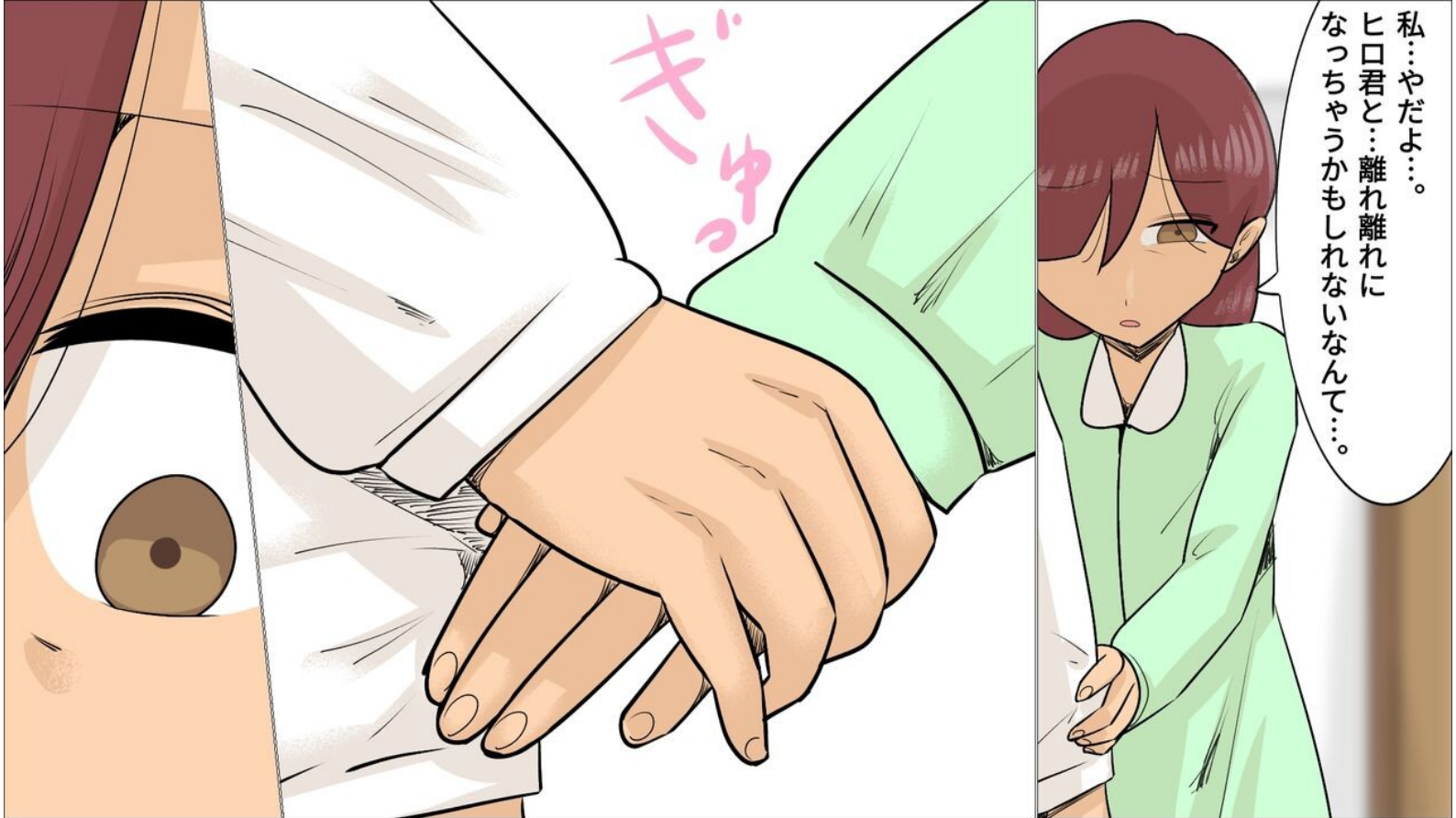
あははは
もう…。
ヒロ君ったら…。



僕はヒロシ…。
彼女のリナとは幼馴染みで
高校の時に付き合い始めてから
もう5年経つ…。



20xx年、政府は子供がいないカップルに対しても、強制婚の適用を発表した。恋人がいたとしても、政府が決めた相手同士が無理やり結婚させられることになる恐れがある。



私…やだよ…。
ヒロ君と…離れ離れに
なっちゃうかもしれないなんて…。



大丈夫…。僕がつ…。
絶対に…リナを…守るから…。

どんな状況になったとしても…。
ずっと一緒にいよう…。

ヒロ…君……。



うん…。そう…だよな……。
私達…ずっと一緒だったもんね…。
これから…そうだよな……。



そうだよ……。
うん…ずっと……。



ぎゅ。

じゃあ……。
今日も仕事…
頑張ってきまーす。



うん！
いってらう……。

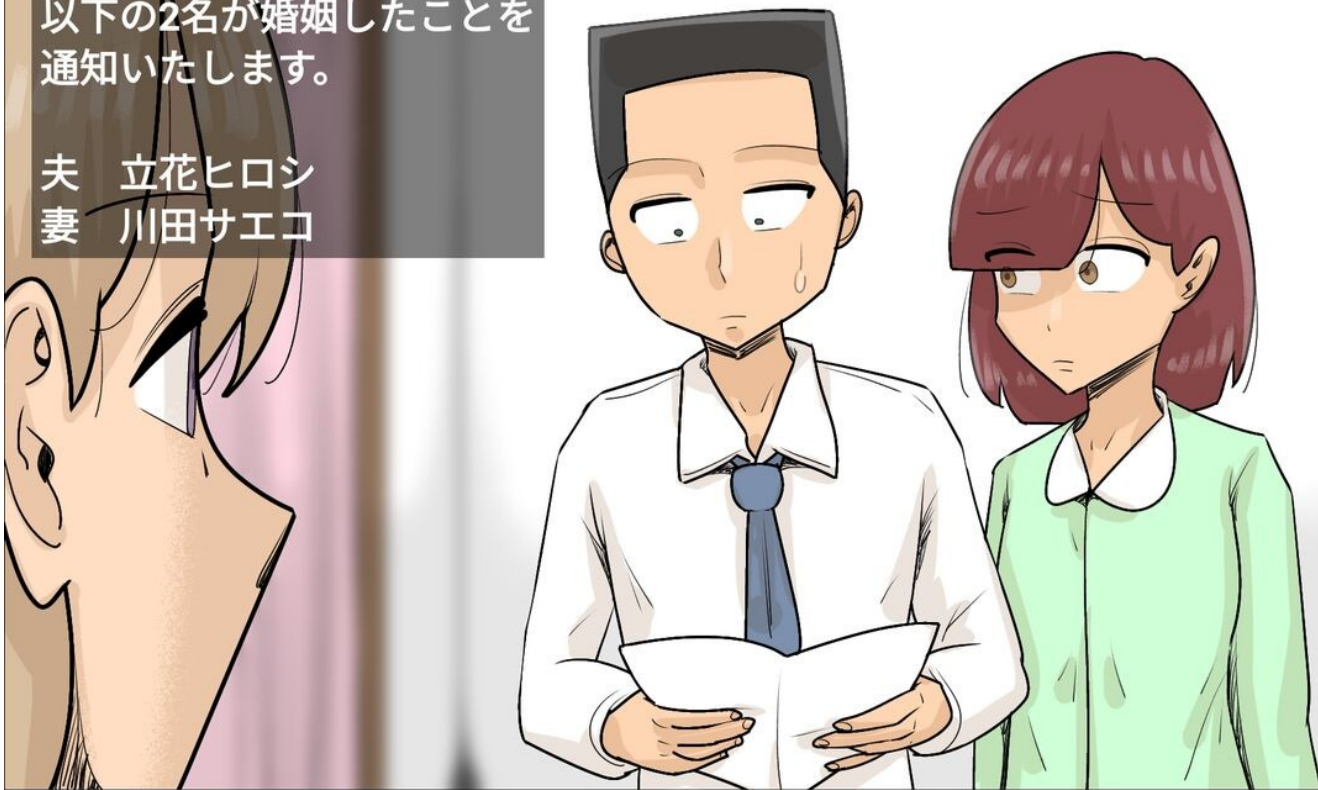
じゃ……う……。

キム

えっと…
誰…ですか…？

強制婚姻通知書
20xx年5月1日、
強制婚姻法に基づいて、
以下の2名が婚姻したことを
通知いたします。

夫 立花ヒロシ
妻 川田サエコ



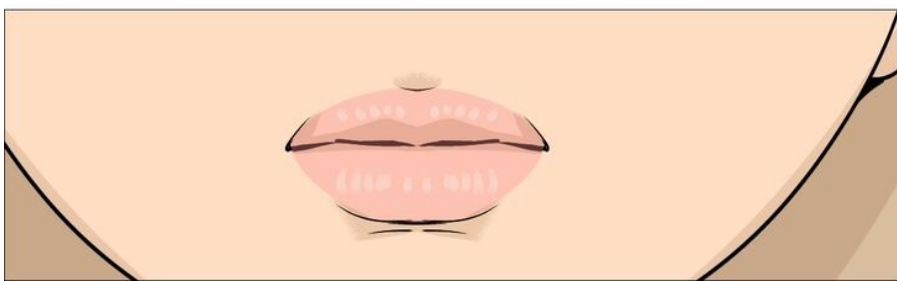
私達…まだ子供はいないけど…
ずっと恋人だったんです。



よっ…よろしく
お願ひしますって…。
あなたと…僕が…？



あのっ…。



だから…
なんとか…なりませ…。

それが
どうしましたか……？

もうあなたはヒロシさんと
カップルではありません。

私とヒロシさんが
正式な夫婦なのでから。

ど
っ

ね？ヒロシさん…。

そして僕らは……。
隔離された……。

リナ……。辛いと思うけど……。
もう……ヒロシ君のことは
忘れなさい……。

あっ……そういえばね、
今度お見合いしないかって
お誘いが来てるんだけど……？

ヒロ君……。
今どうしてる……？

ヒロシさん……。
今日の「飯」どうですか……？

……。

あの……。
怖くないんですか？
サエコさん……。……。

僕達…知らない者
同士なのに…。
いきなり…こんな
結婚だなんて…。

私は…これまで…
結婚相手も見つけられず…。

歳も35まで
来てしまいました…。

私は…ヒロシさんのこと
まだよく知りません…。

だけど…
これから…。

よく知って…そして…
好きになっていきたいなと
思ってます…。

私にとって…
結婚して…
赤ちゃんを産む…
最後のチャンス
なんです…。

あんなこと…
確かに…35歳なら…
赤ちゃんが欲しかったら…
もうそろそろ
産んどかないとだよな。

ちやほ。

いやっ…でも…僕には
リナが…いるんだ…。
もしサエコさんを
妊娠させてしまったら…。

ブクブク

悲しむよなー。

コロンやーん…。

お背中、流しますから
上がってください。

ガラガラ

さっ…
サエロさん…!?

!!

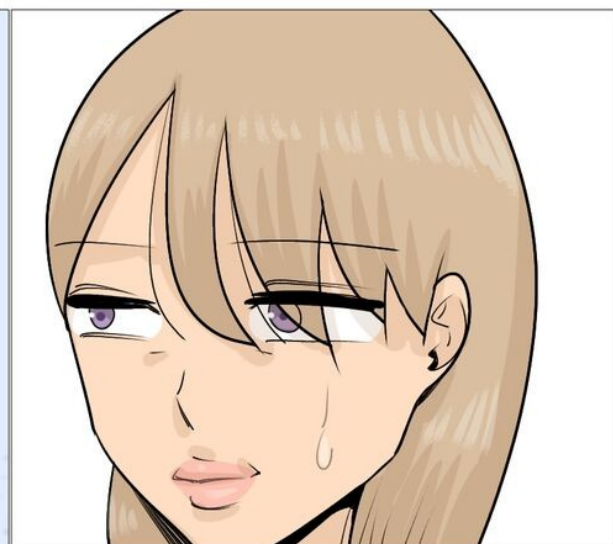
いっ…いやっ…
自分でできるんで…
いいですよっそんなっ…。

いいえ、妻として
夫の背中を
お流したいんです…。

いっいやあ…。

あつ…
勃ってきちゃった…。

いっいっいっ



はあ。

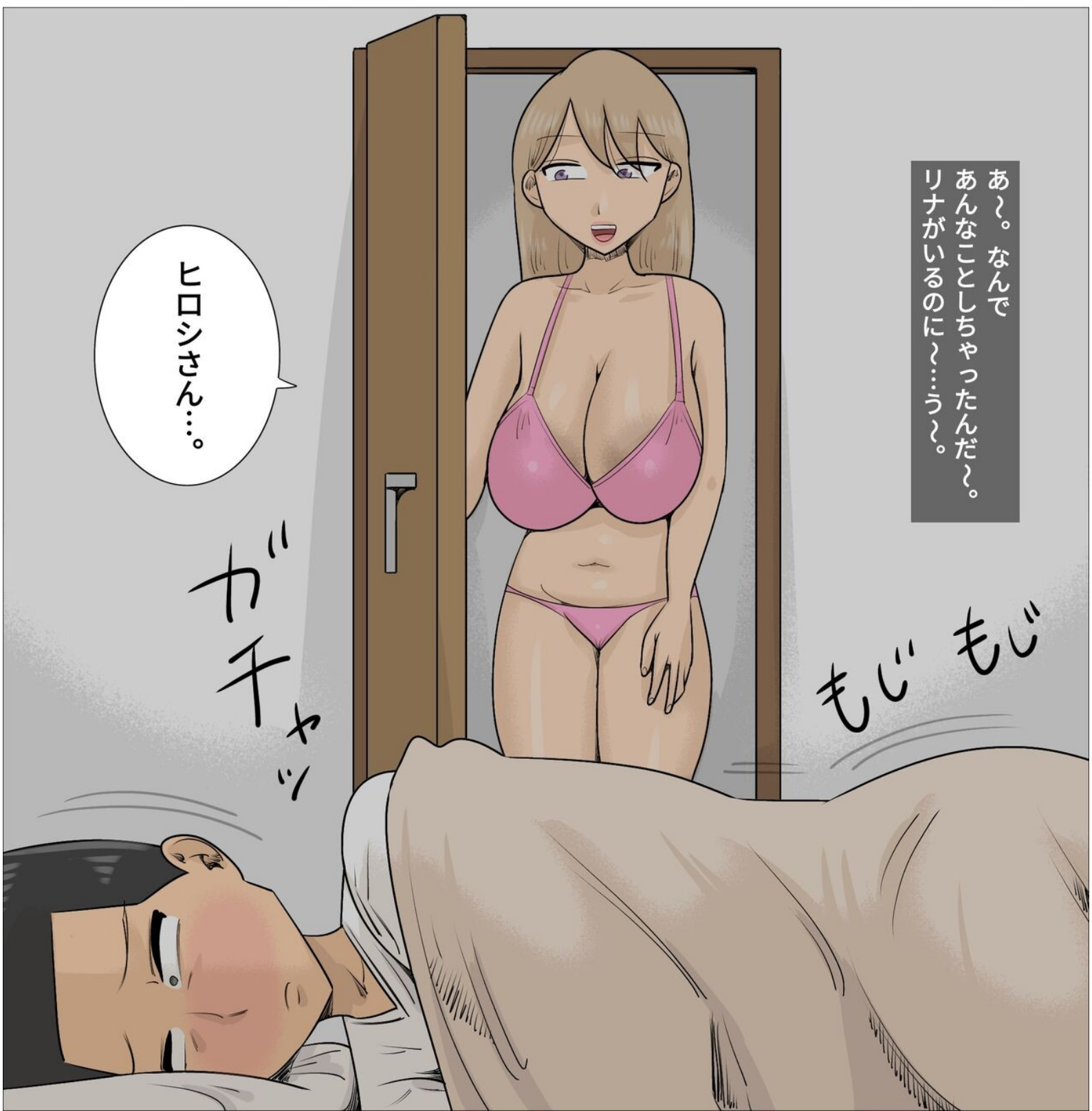


あ。なんで
あんなことしちゃったんだ。
リナがいるのに...う。

ヒロシさん...

ガ
チャ
ン

もじ もじ



えっ…!! なっ なっ…
なんですかつ…
その格好…!!

何って…その…
言わせないで
くださいよ…。

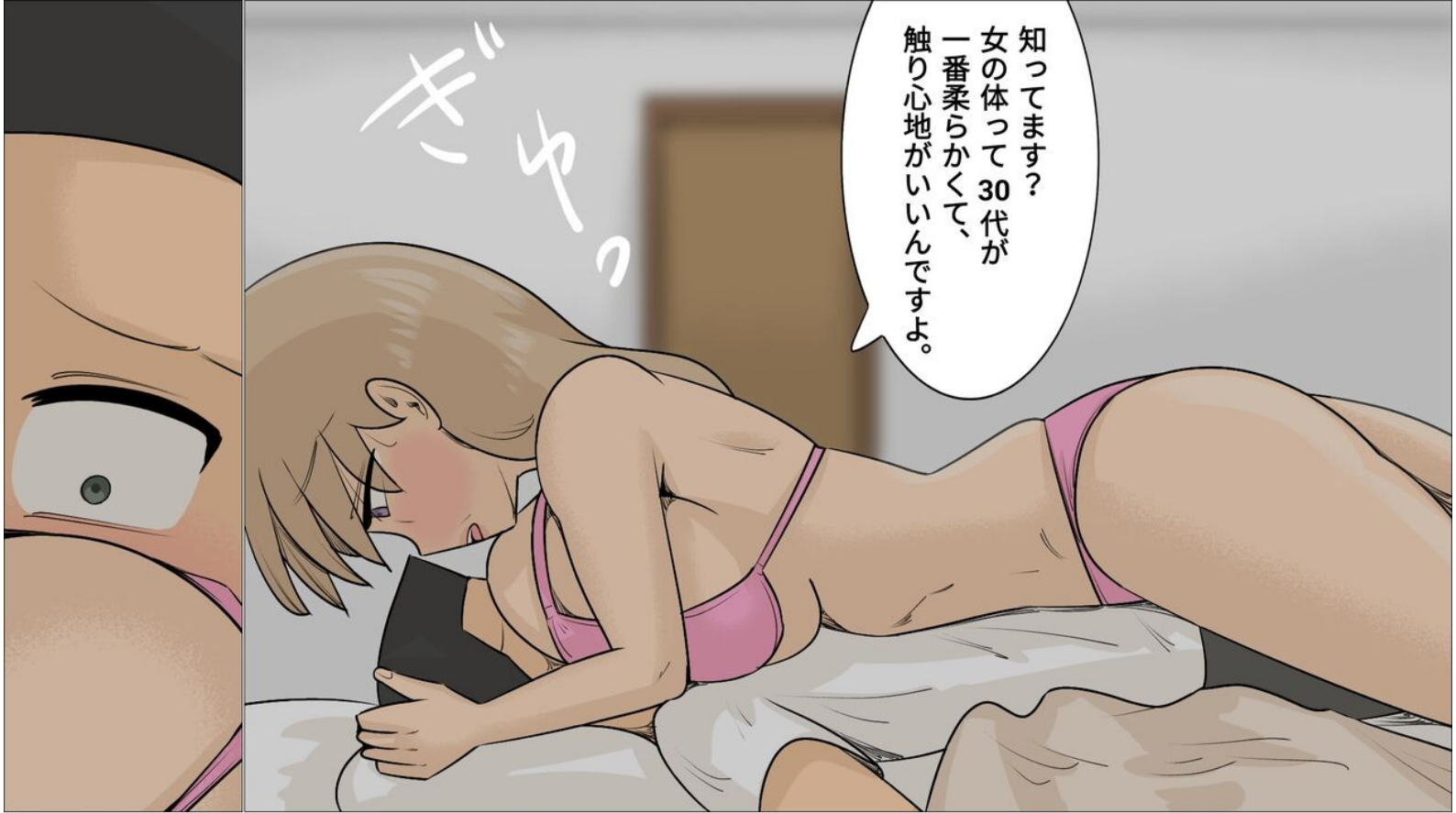
どさっ

子作りに決まってる
じゃないですか……？

私の体…好きに使って…
いいですからね……？

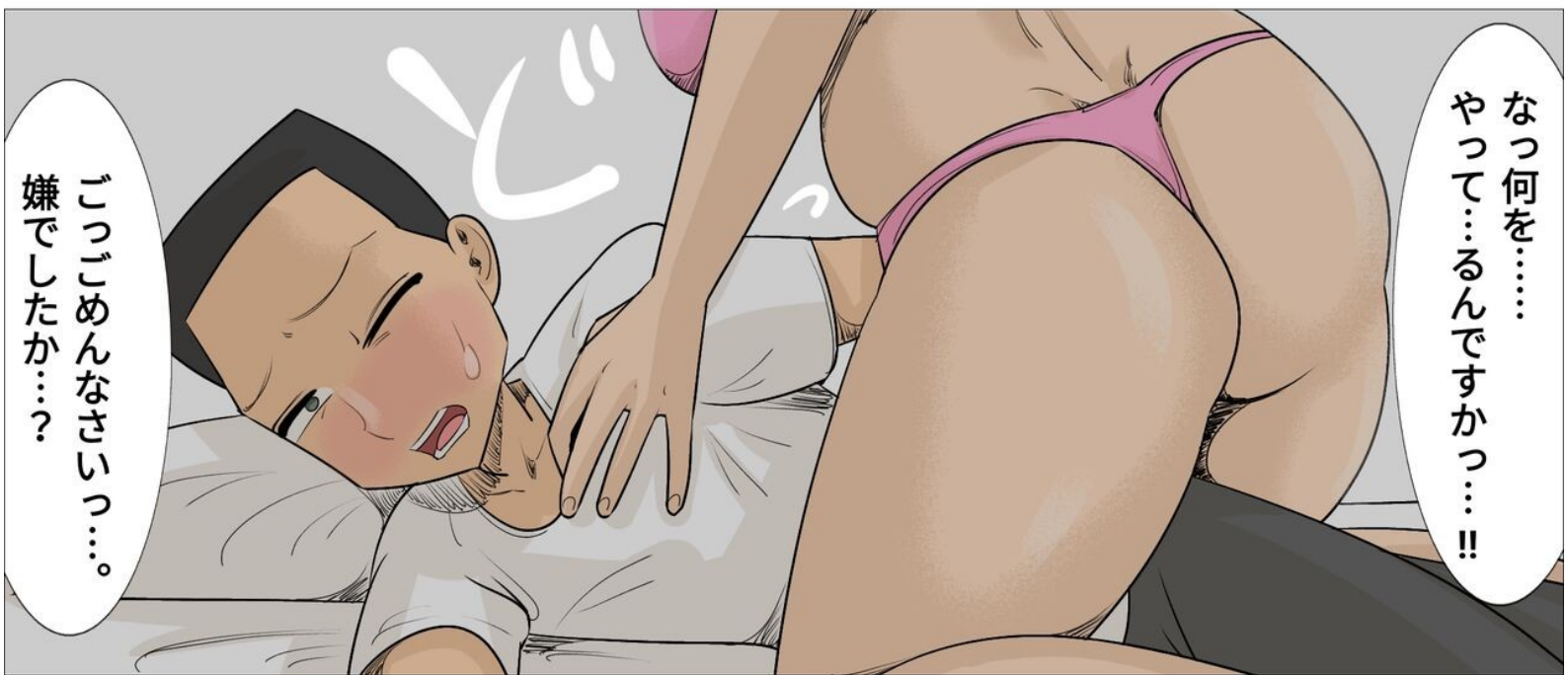
もみ

いやっ…そんな…。
僕はっ…リナが…。



知ってます？
女の体って30代が
一番柔らかくて、
触り心地がいいんですよ。

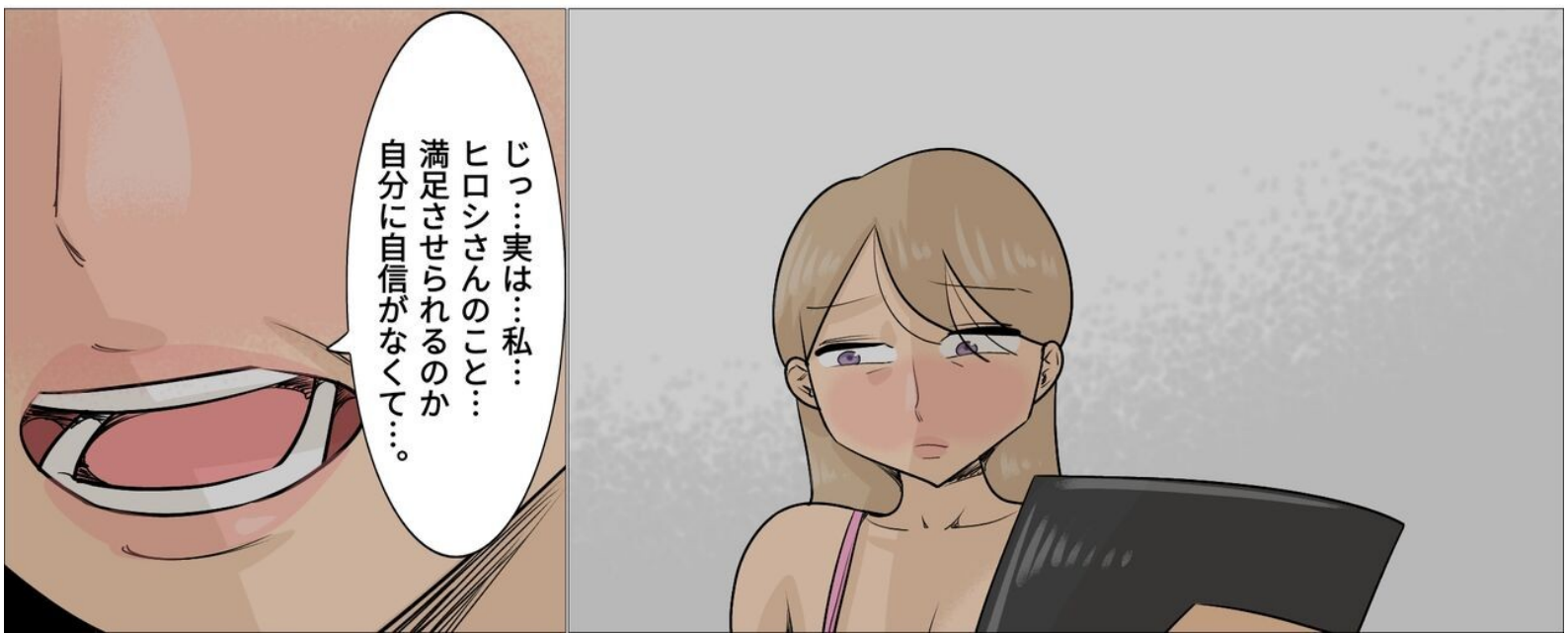
ぎゃっ



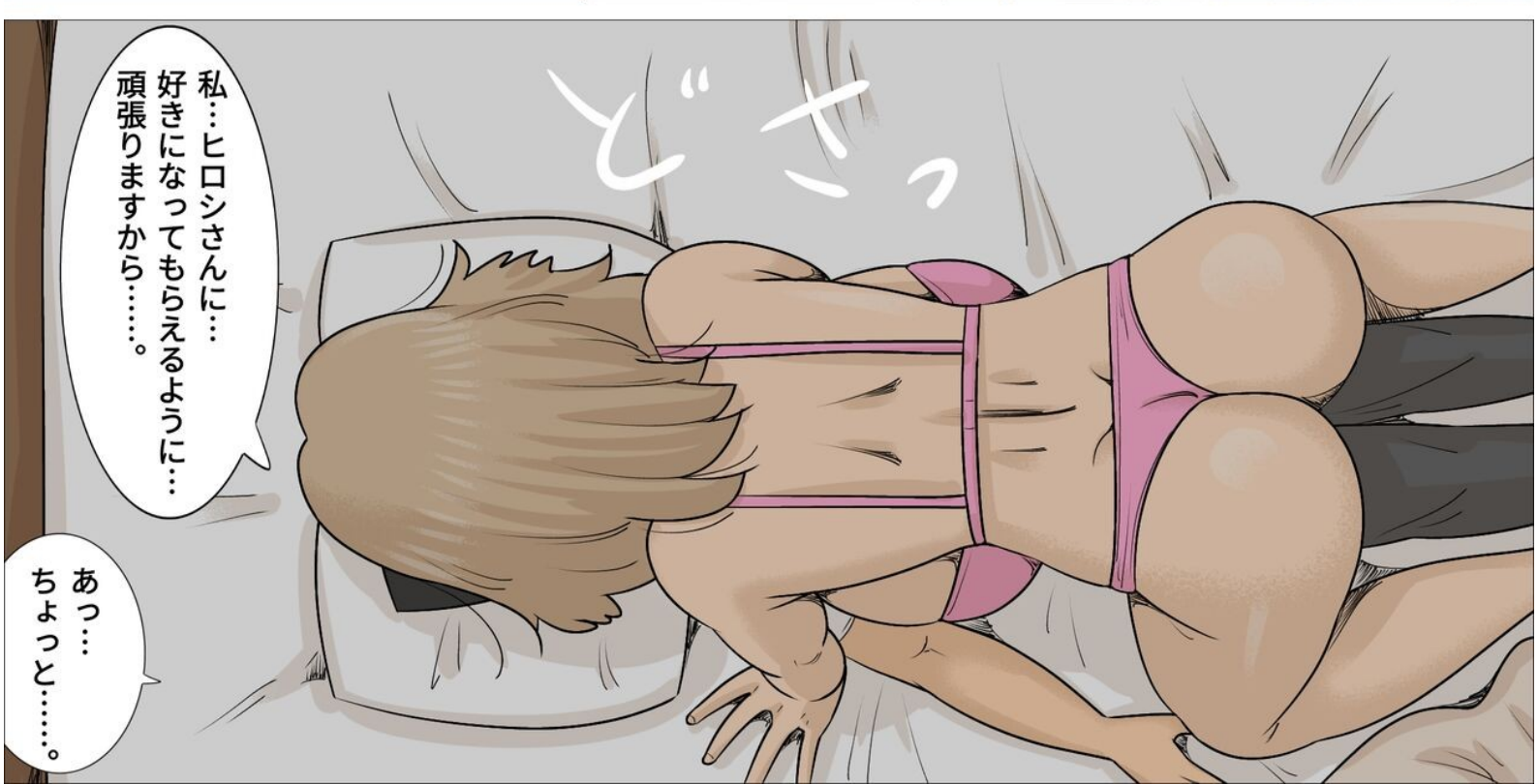
なっ何を……
やって……るんですかつ……!!

じ

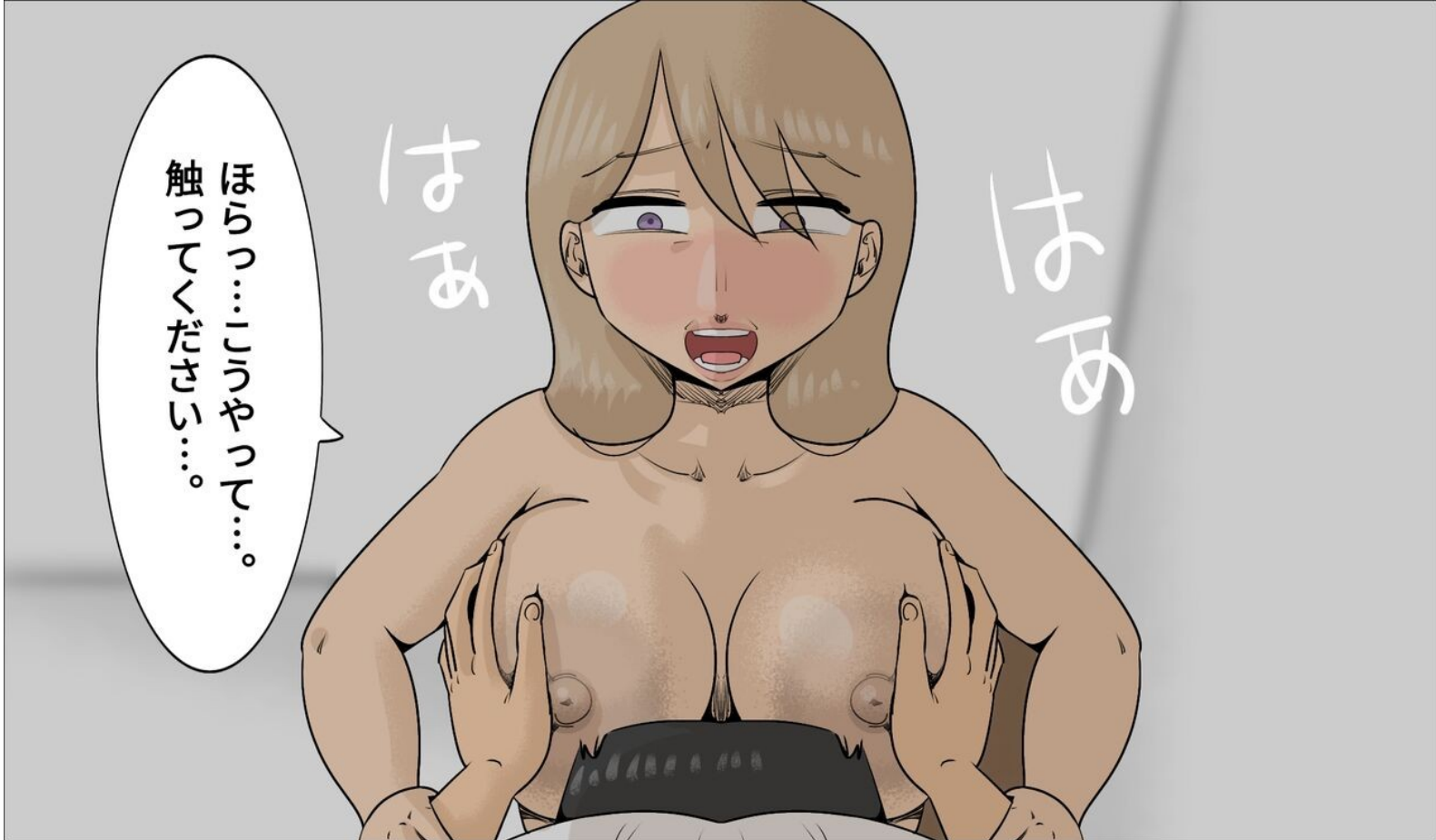
ごっごめんなさいっ……。
嫌でしたか……？



じっ……実は……私……
ヒロシさんのこと……
満足させられるのか
自分に自信がなくて……。







ほらっ…じゅやって…。
触ってください…。

はあ

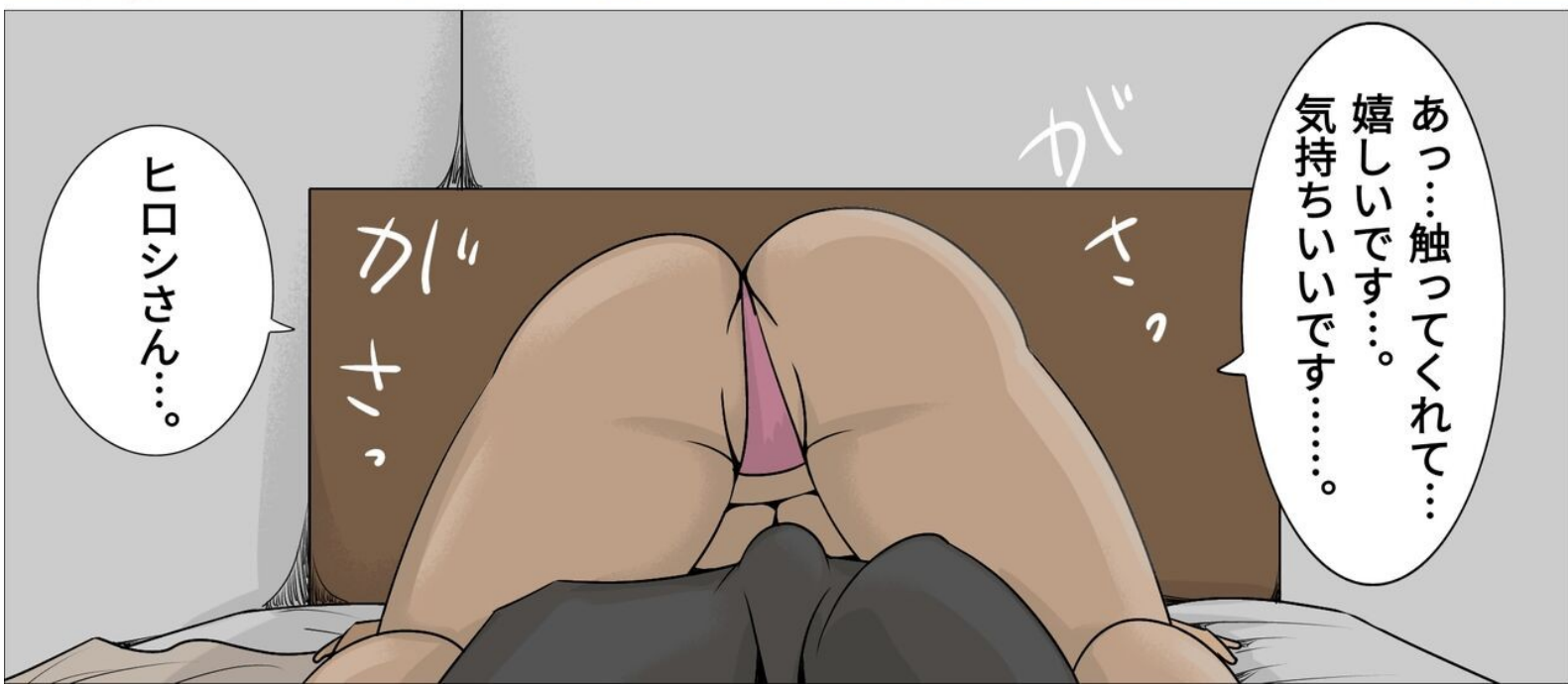
はあ



リナより…。
バカっ…僕は…
何考えてんだ…。



こっこれはっ…。
すごいタブタブしてて…。
柔らかくて、ずっしりしてる…。

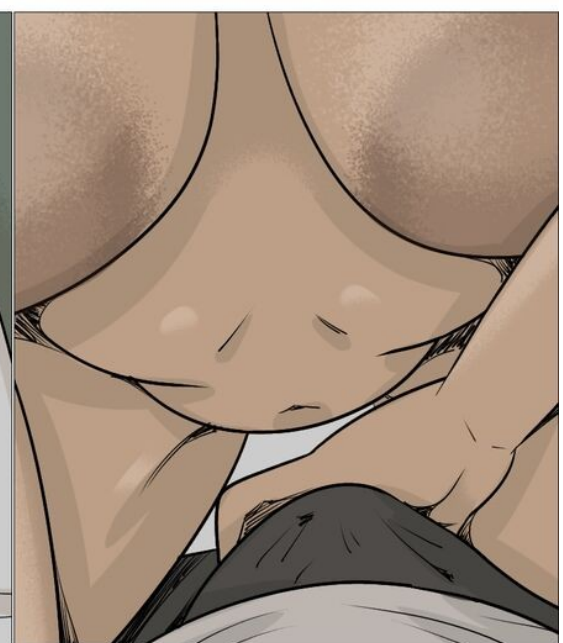
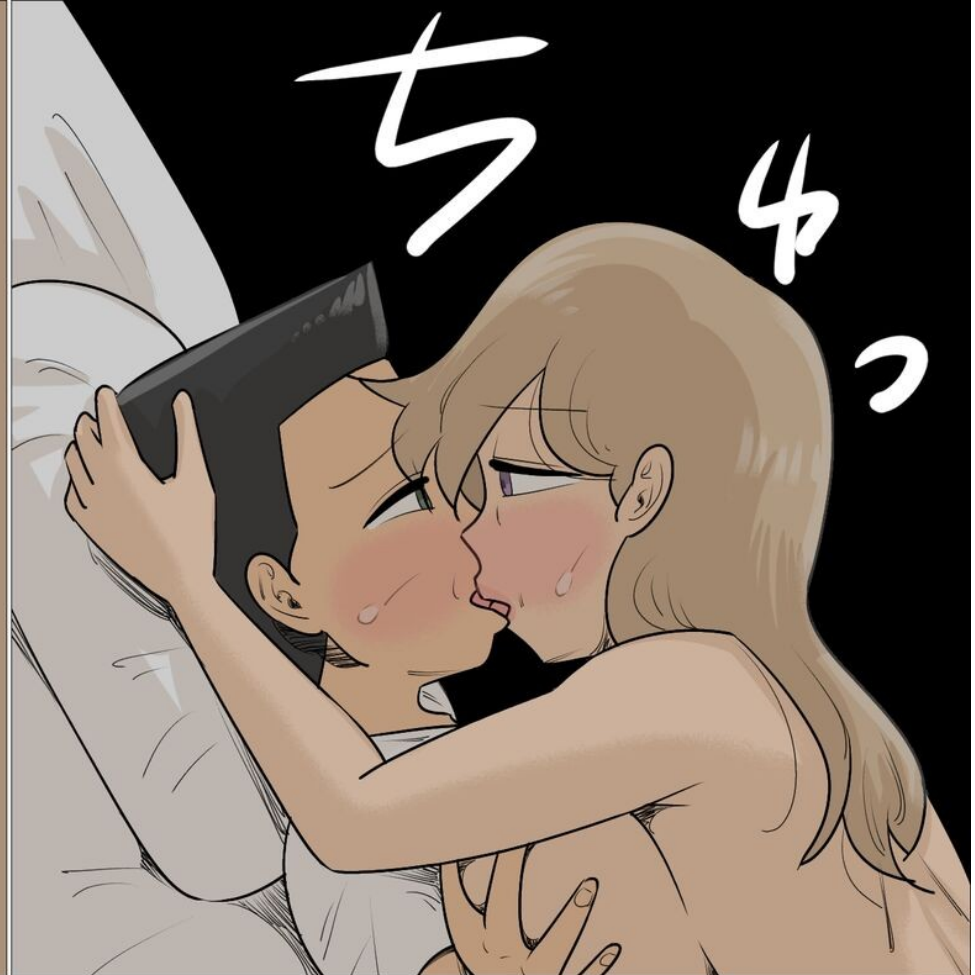


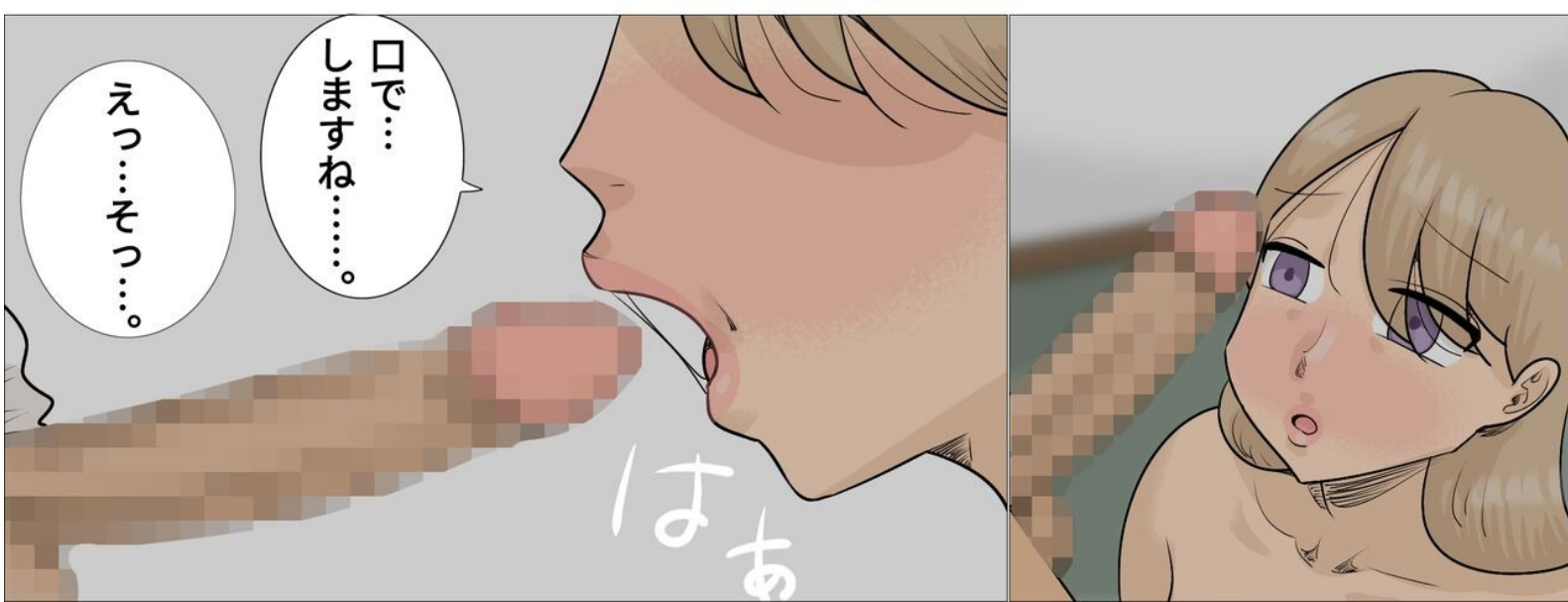
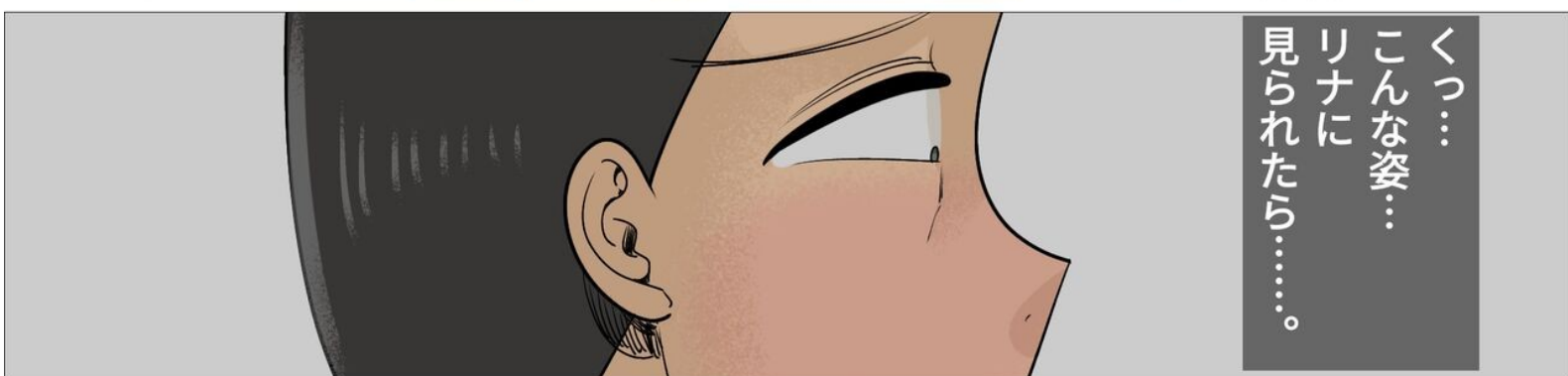
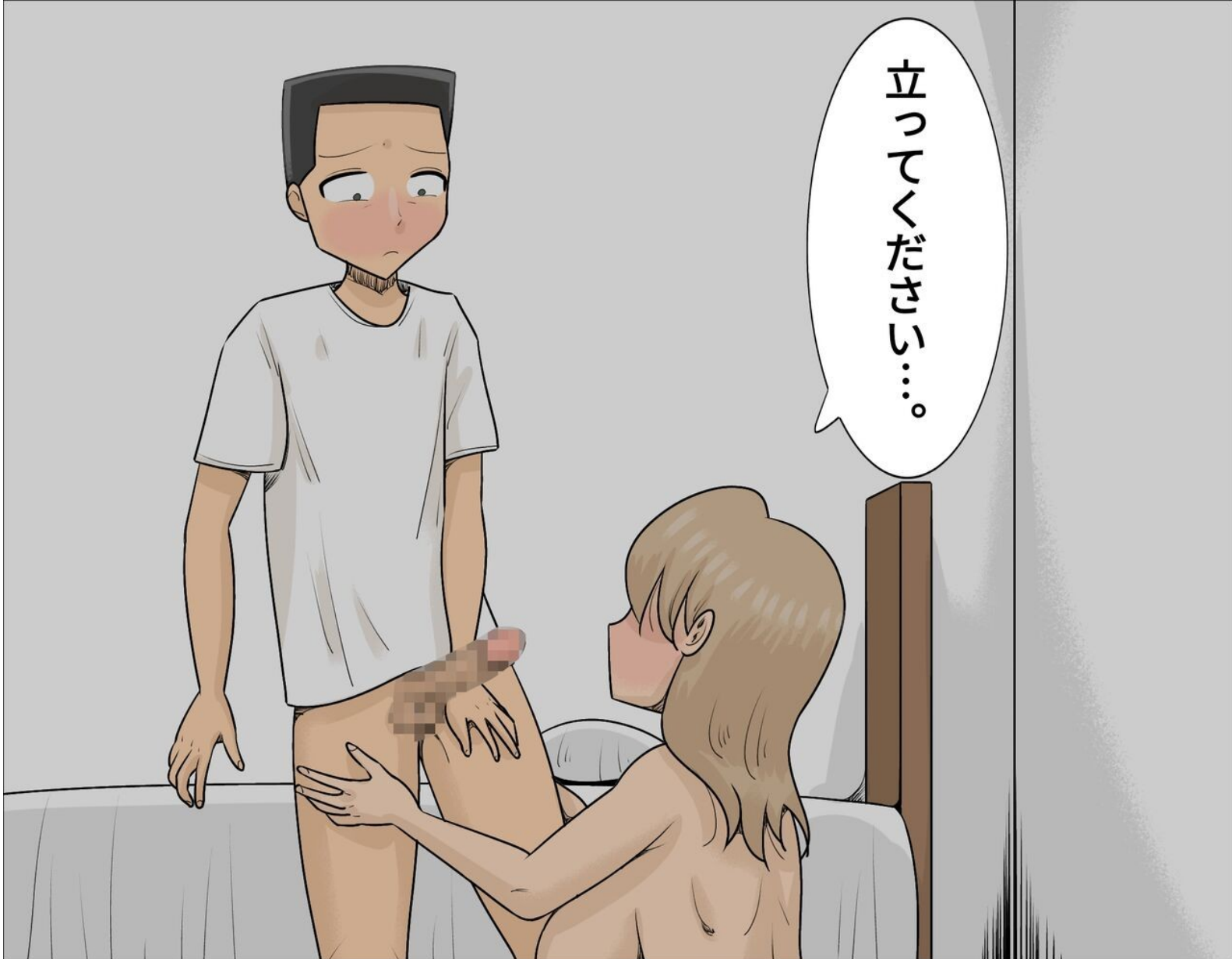
あっ…触ってくれて…
嬉しいです…。
気持ちいいです…。

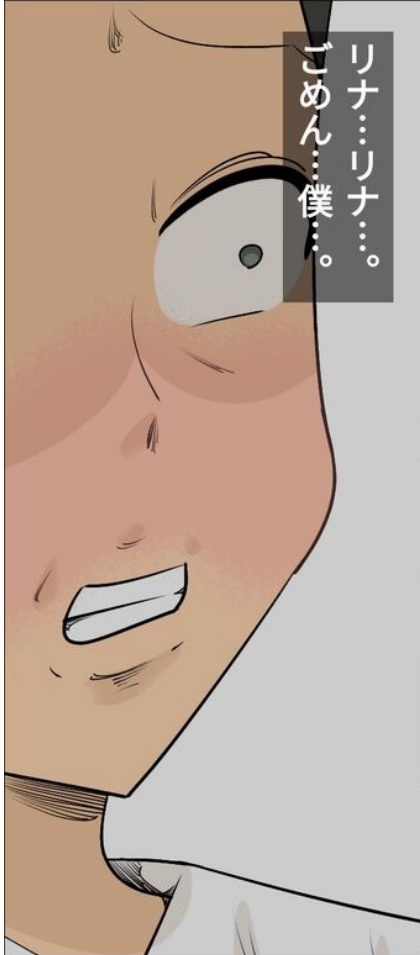
がっ

がっ

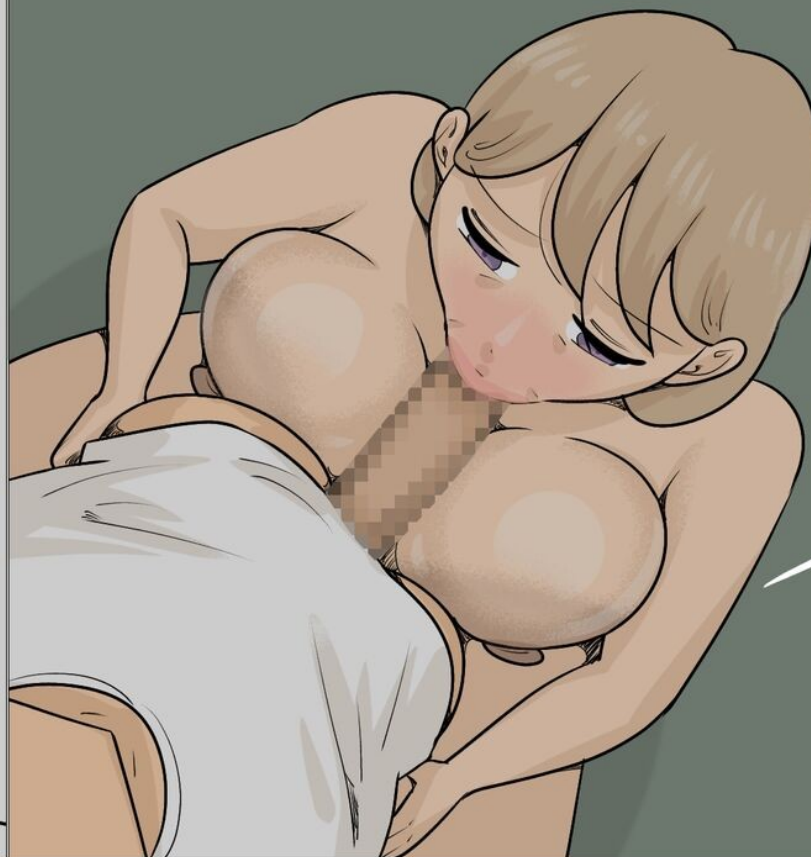
ヒロシさん…。







リナ…リナ…。
ごめん…僕…。



あつ…はっ…
そんなっ…
汚いですよっ…。

ちゅっ

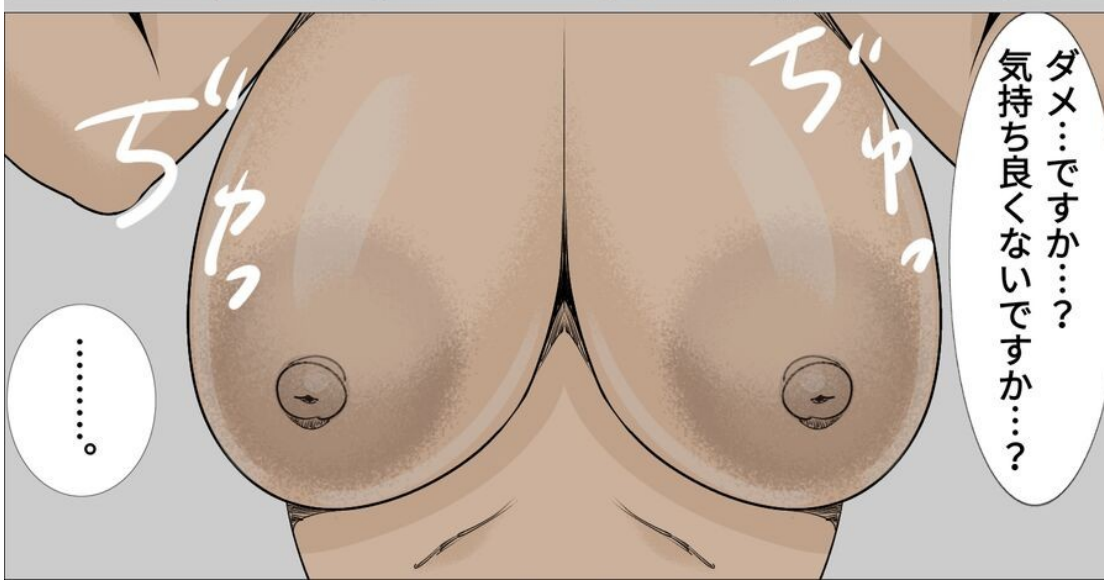


いやっ…こんなこと…
やめましょっ…。

あ

これ…どうですか…？
ヒロシさんのために…
練習してみたんですけど…。

あ



ちゅっ

ちゅっ

ダメ…ですか…？
気持ち良くないですか…？

……。



いっ

タマの…裏とかも…
なめられますよ…。

ずっ
ずっ

ちゅっ
ちゅっ

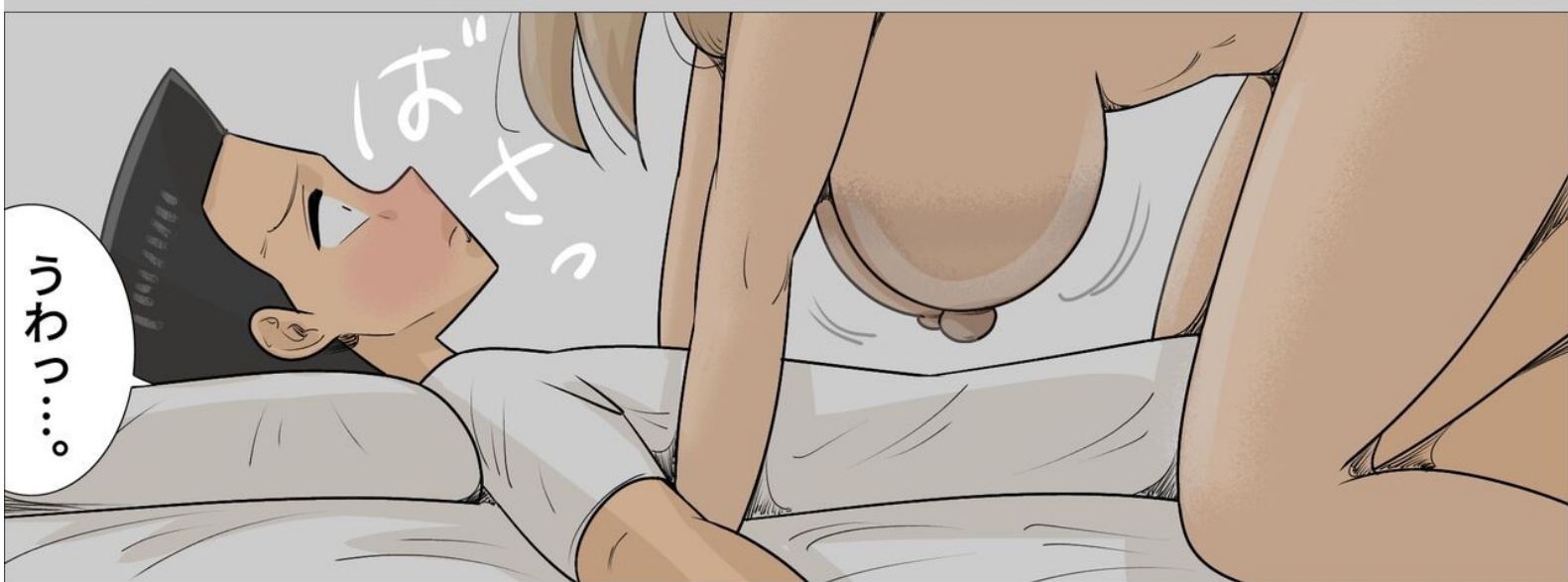
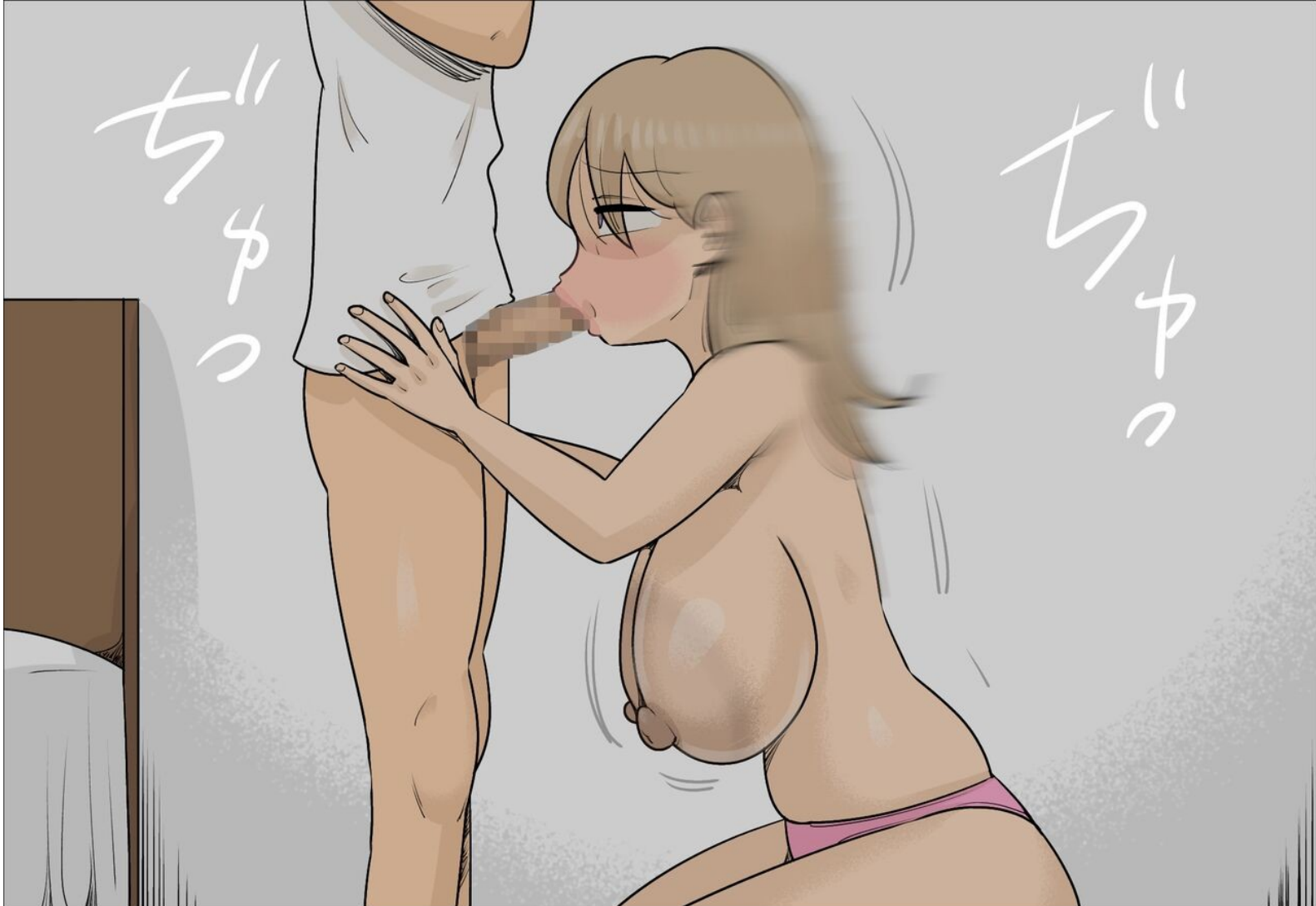
我慢しろ…。こんなことで…
リナを…裏切るわけには…。

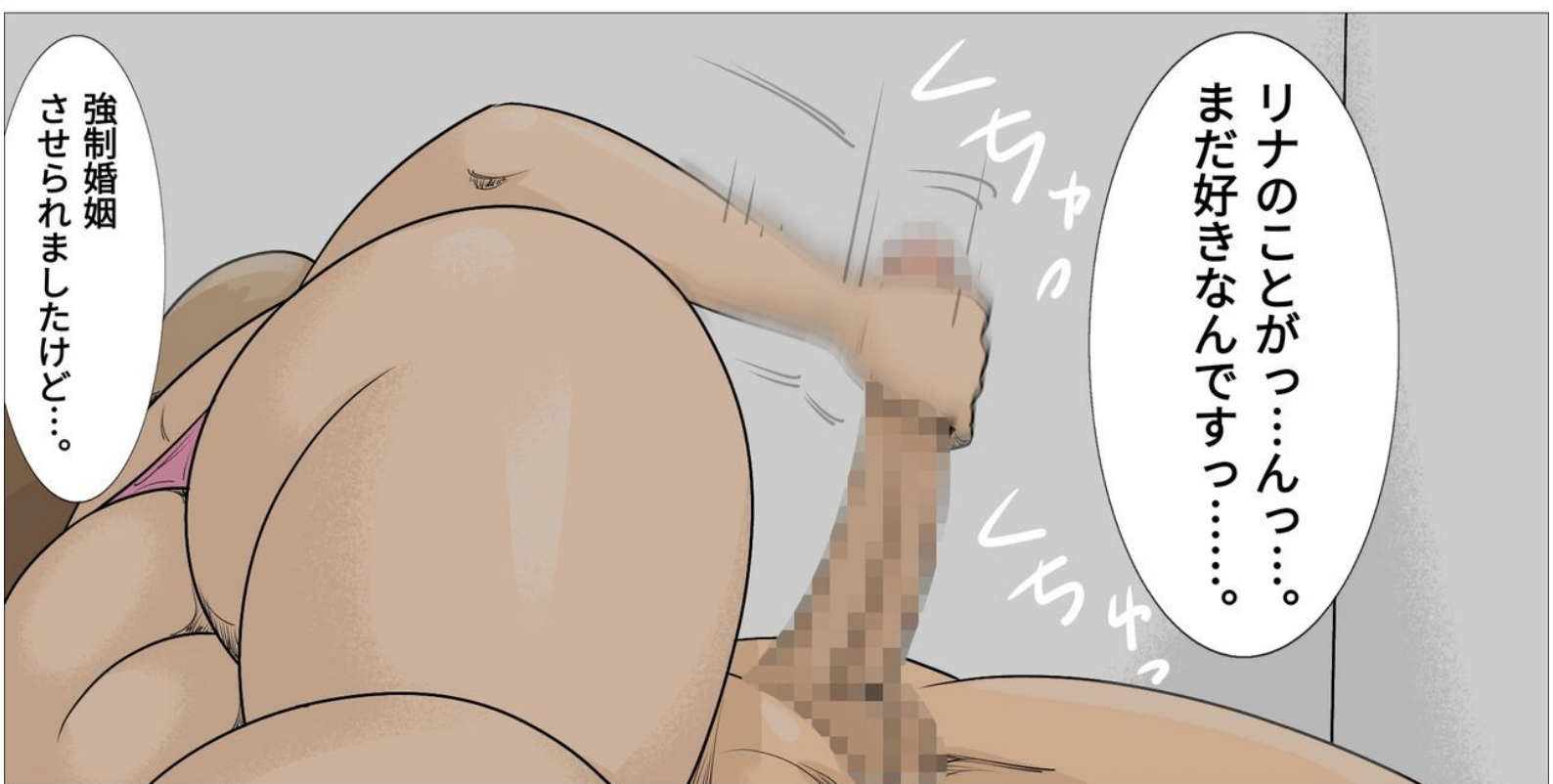
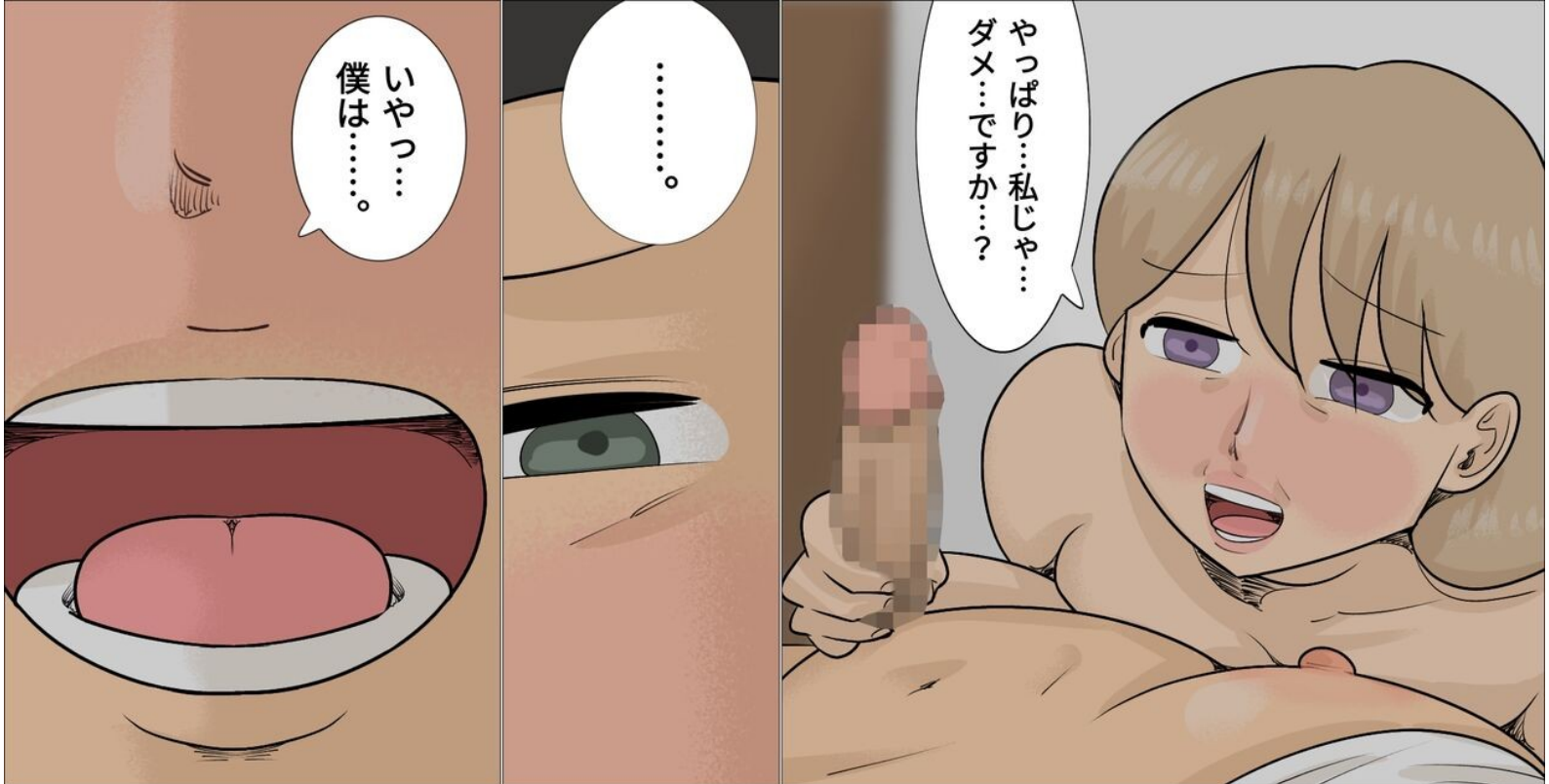
あっ

あっ

んっ…こんなことするの…
ヒロシさんだけ
ですからねっ…？

リナと…あんなに長く…
付き合ってた時間は…
何だったんだよ…って…
なるじゃないか……。





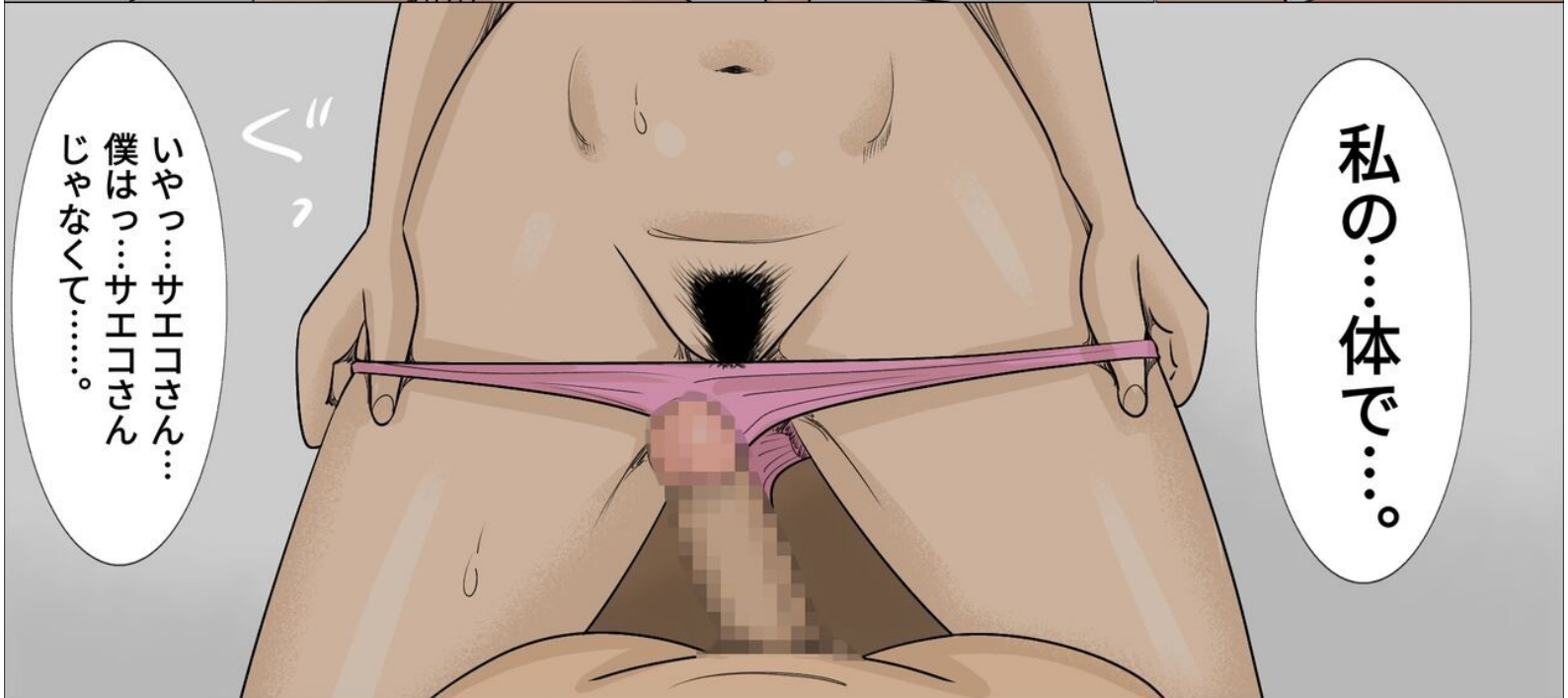


ヒロシさんっ……。

はあ

はあ

試してっ…
くれませんんかっ…？



私の…体で…。

いやっ…サエコさん…
僕はっ…サエコさん
じゃなくて…。



私っ…強制婚とか…
関係なくっ…。
ヒロシさんのこと…
好きなんですっ…。

この歳になって…
結婚とか…。
諦めてましたっ…。

でも……。

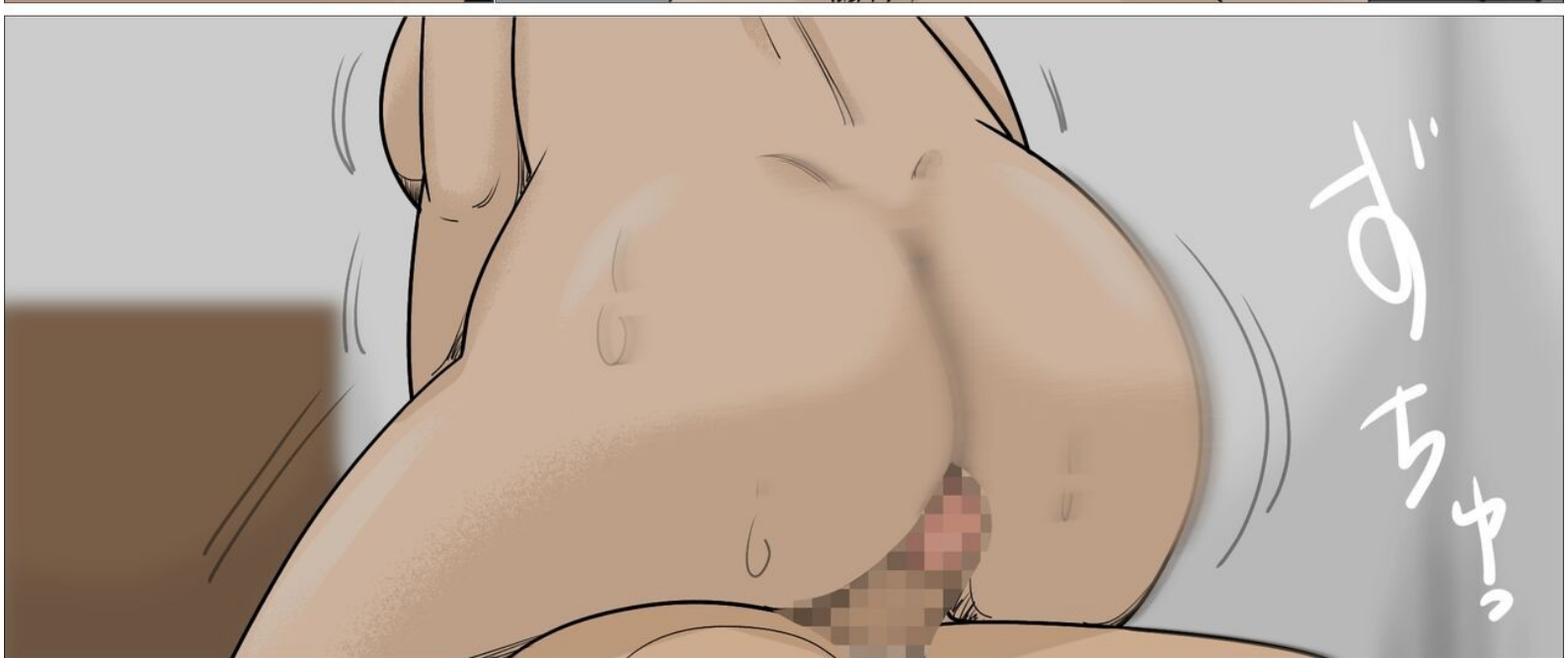
ずっ
ちゅっ

ずっ
ちゅっ



ああっ…私…この人の…
赤ちゃんを産みたいって…。
思いましたっ…………。

ある日っ…こんなに…
可愛い…男の人が…
私の…夫になってくれたんです…。



ずちゃっ



僕はまだ…
リナがっ…………。

ぐちゃっ



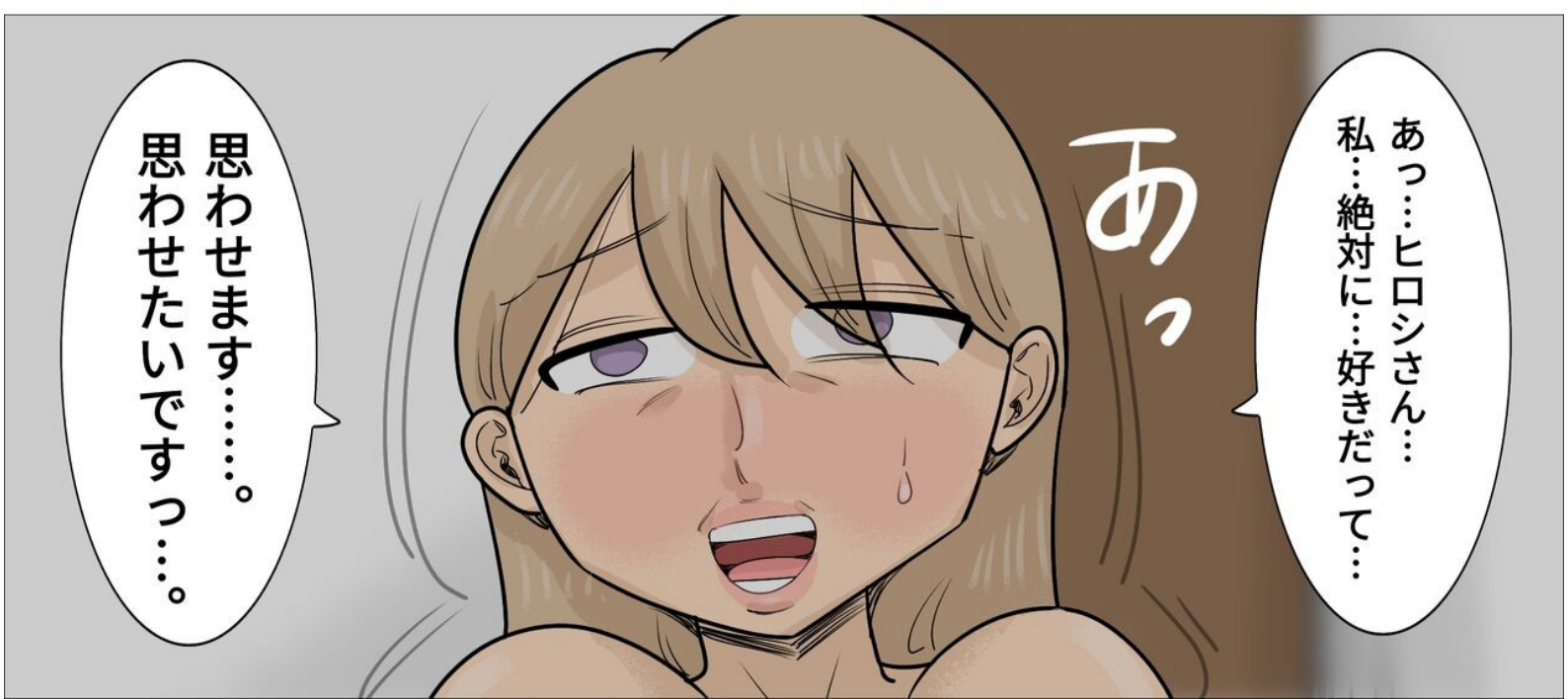
ありがとっ…
ございますっ…。
サエコさん…
でもっ…………。



だから……。
リナさんの…ことはっ…
忘れてほしいです…………。



好きでっ..
あっ.....。

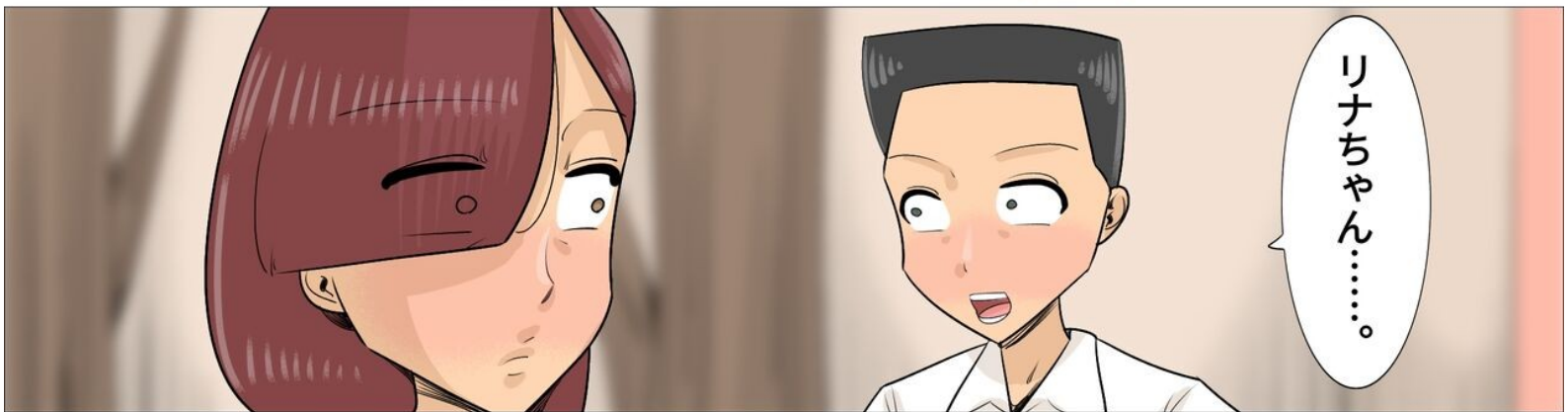


あっ...ヒロシさん..
私...絶対に...好きだって...

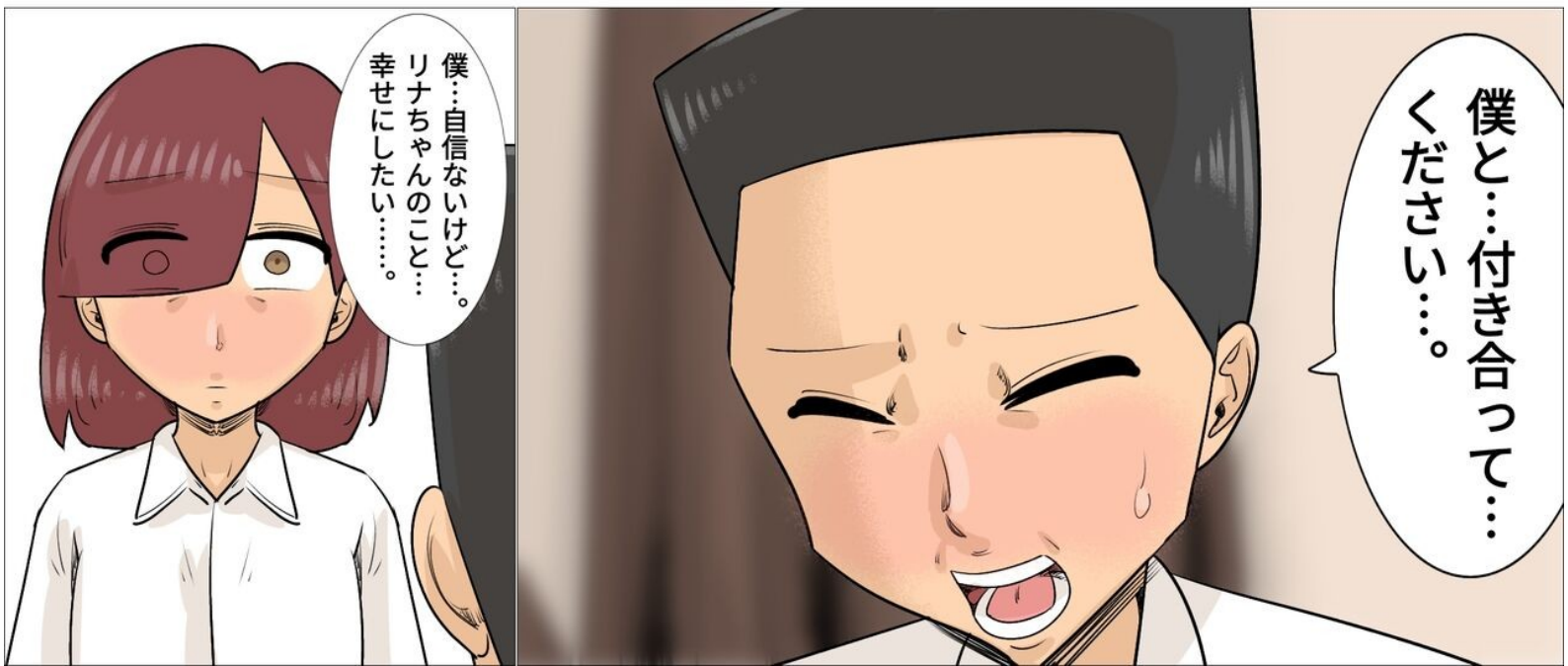
思わせます.....。
思わせたいですっ..。



ごめん
リナ……。

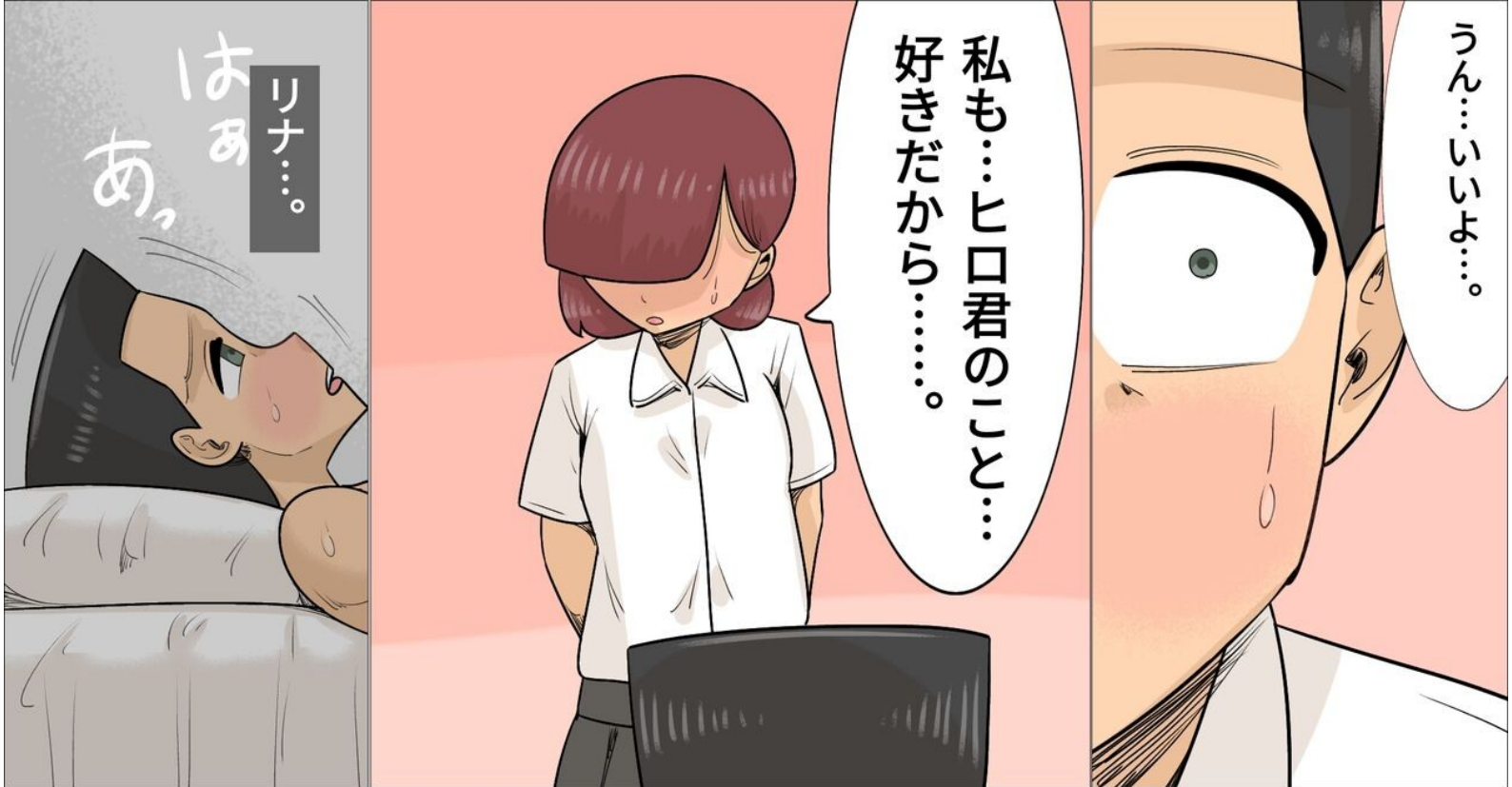


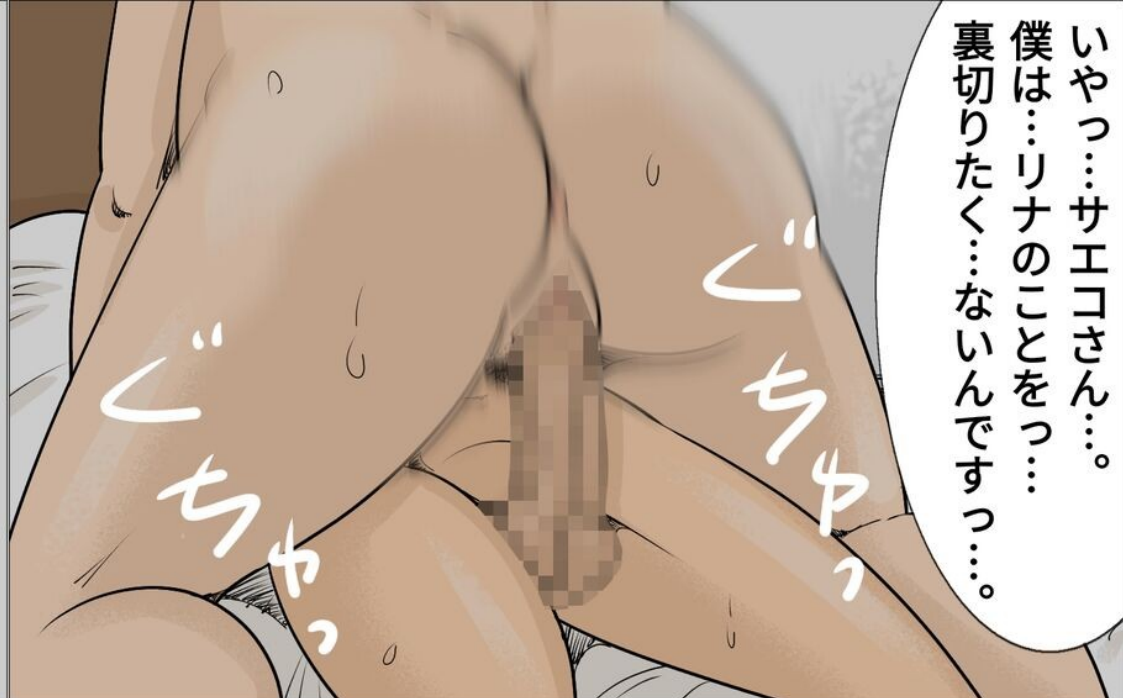
リナちゃん……。



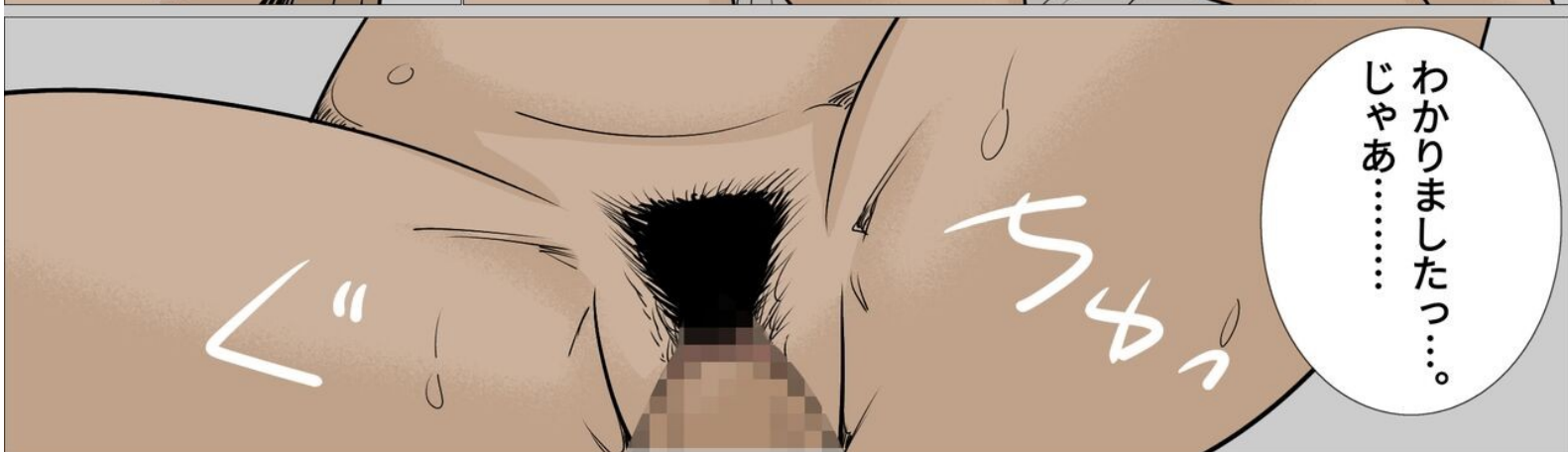
僕…自信ないけど…
リナちゃんのこと…
幸せにしたい……。

僕と…付き合って…
ください……。





いやっ…サエコさん…。
僕は…リナのことを…
裏切りたく…ないんですっ…。



わかりましたっ…。
じゃあ……。

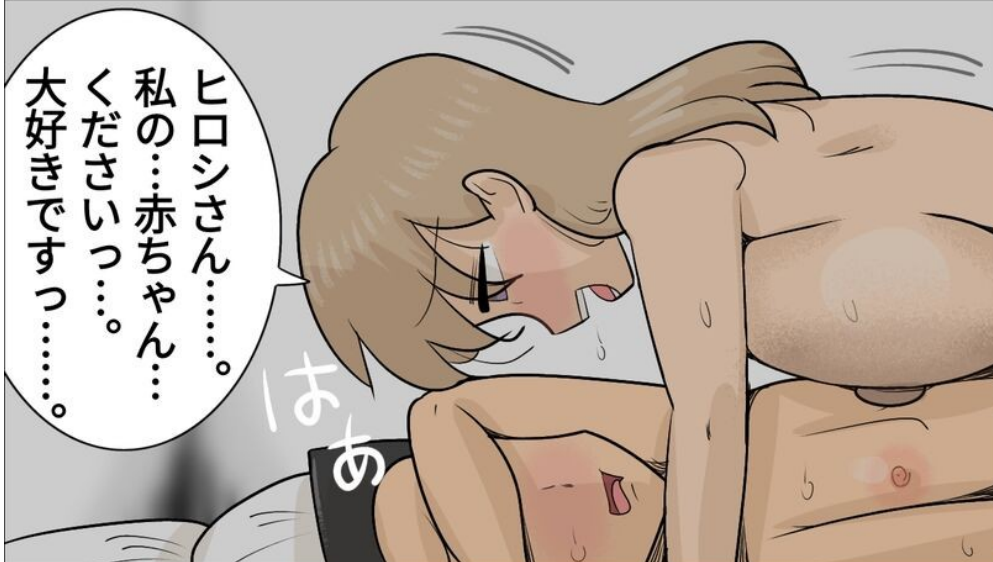


私の中に出したらっ…
私のこと…好きになってくれたって
ことでいいですよ…？

あつ…。いやつ…。
そんなっ…激しくっ…
しないでっ……。

ぐ
ちゅっ

ぐ
ちゅっ



ヒロシさん……。
私の…赤ちゃん…
くださいっ…。
大好きですっ…。

はあ



リナ…。助けて……。
リナ……。

あ



ヒロ君……。
ヒロ君……。

んっ
んっ

あつ...だめっ...
いっちゃう.....

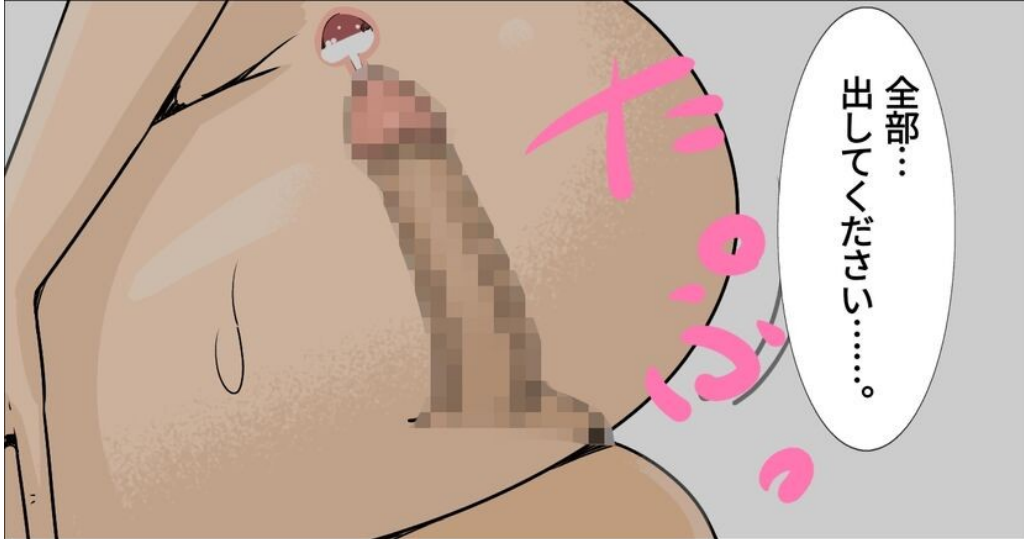
ビクッ

ぽちゅっ

あ

はあ

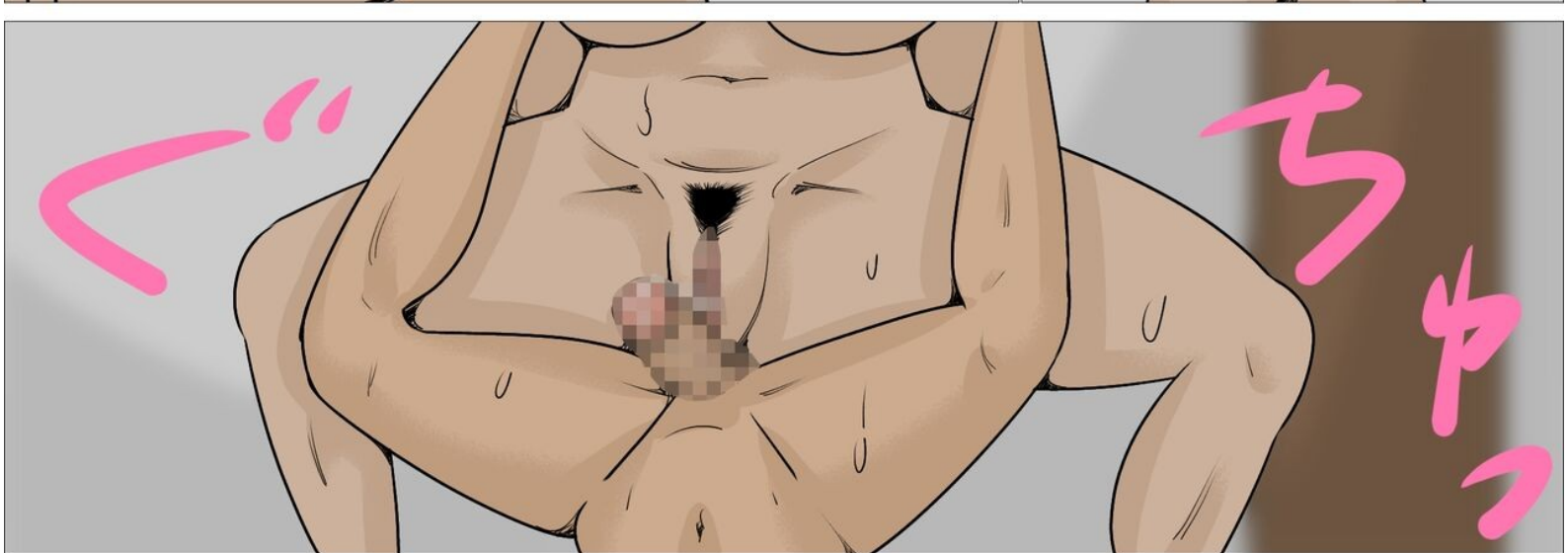
ぐちゃ



全部…
出してください……。



あつ……温かい…。
ヒロシさんの……精子……。

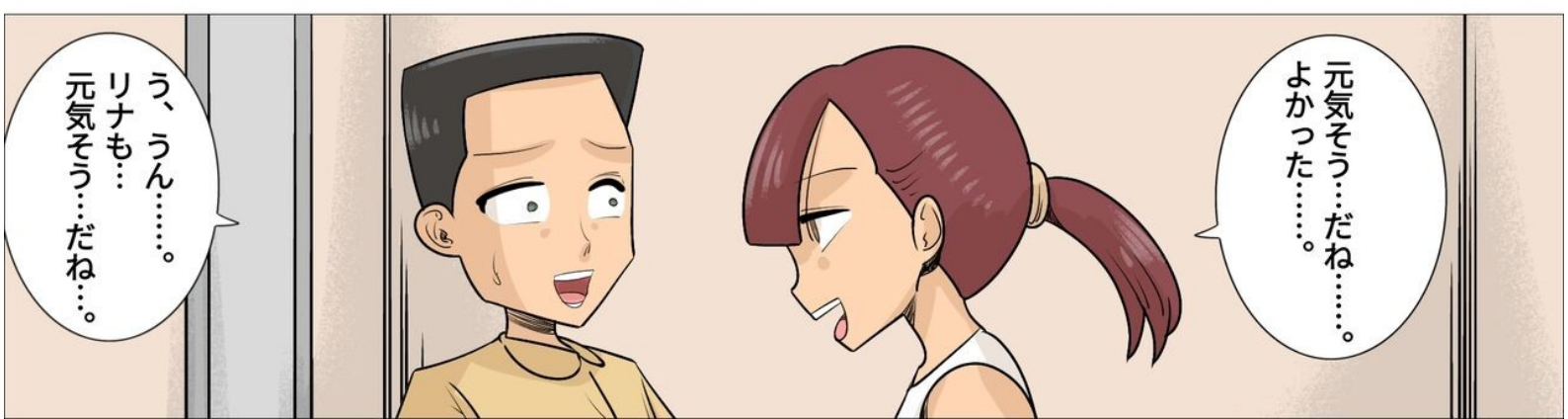
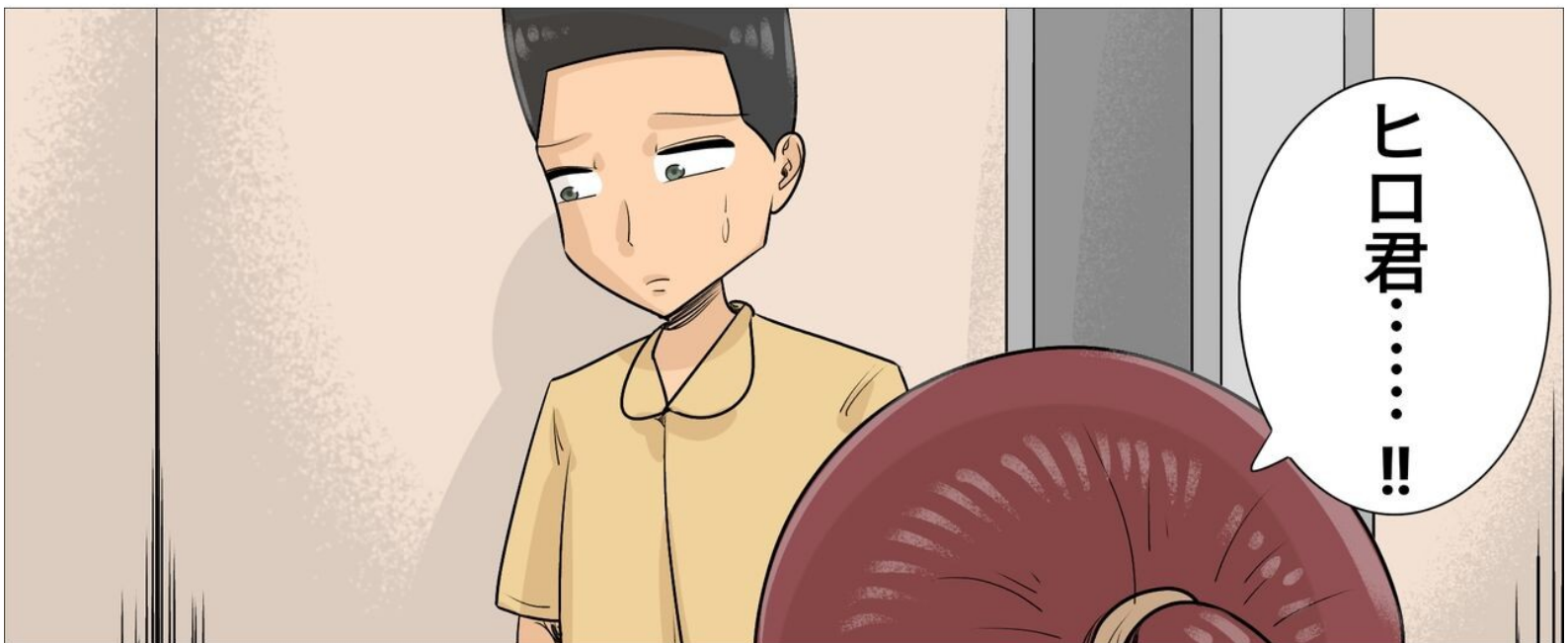
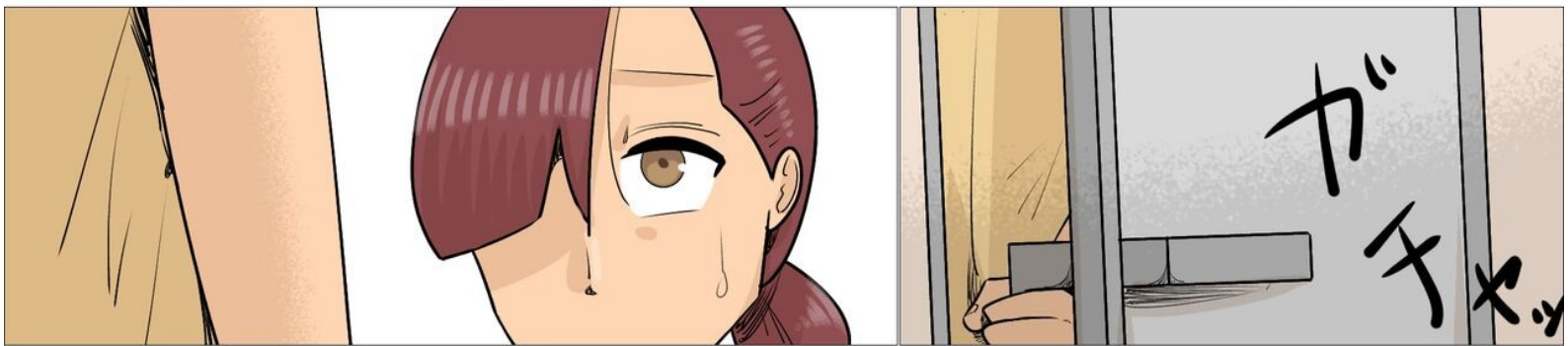


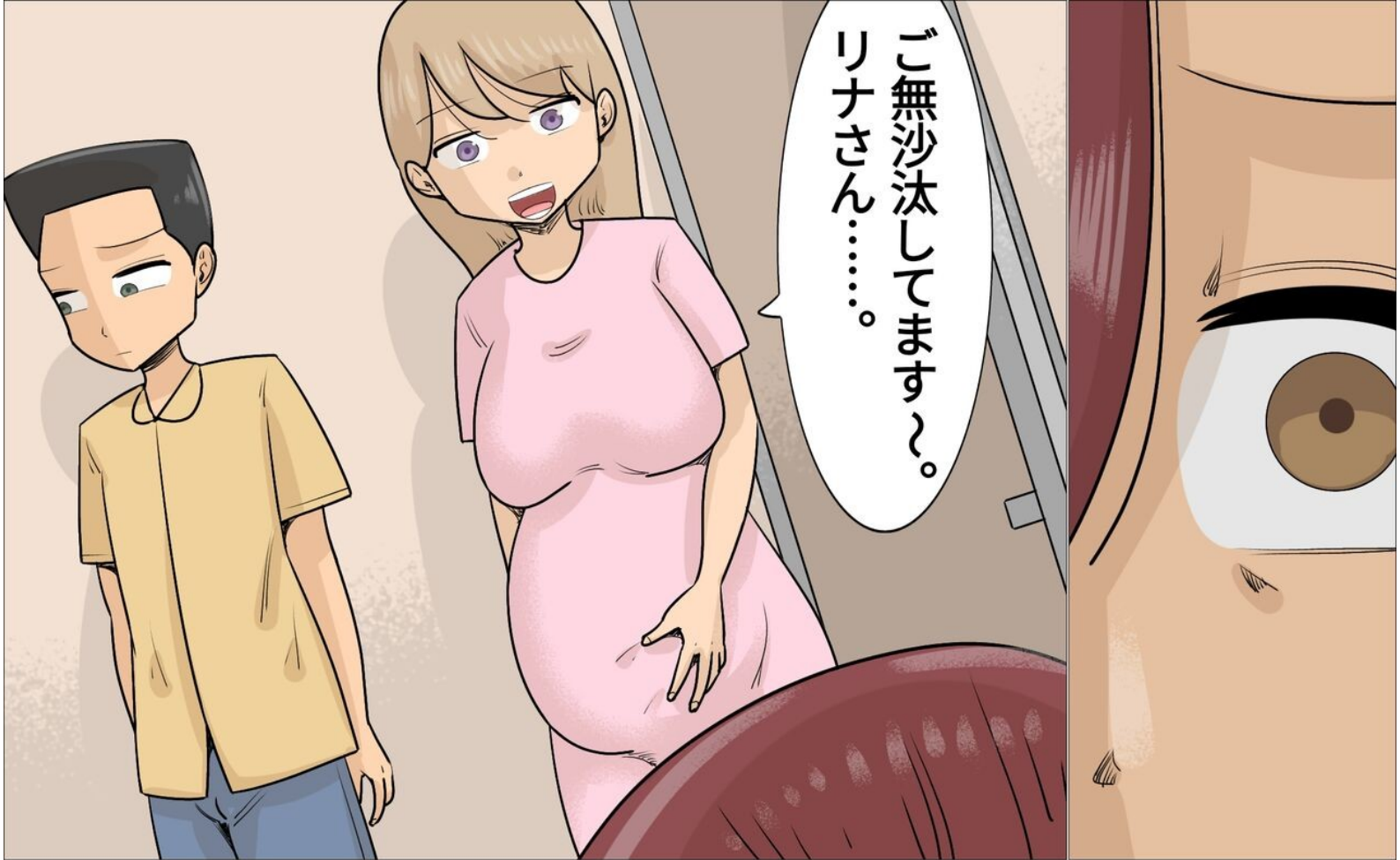
ありがとう……！うぐうます……。
ヒロシさん……。

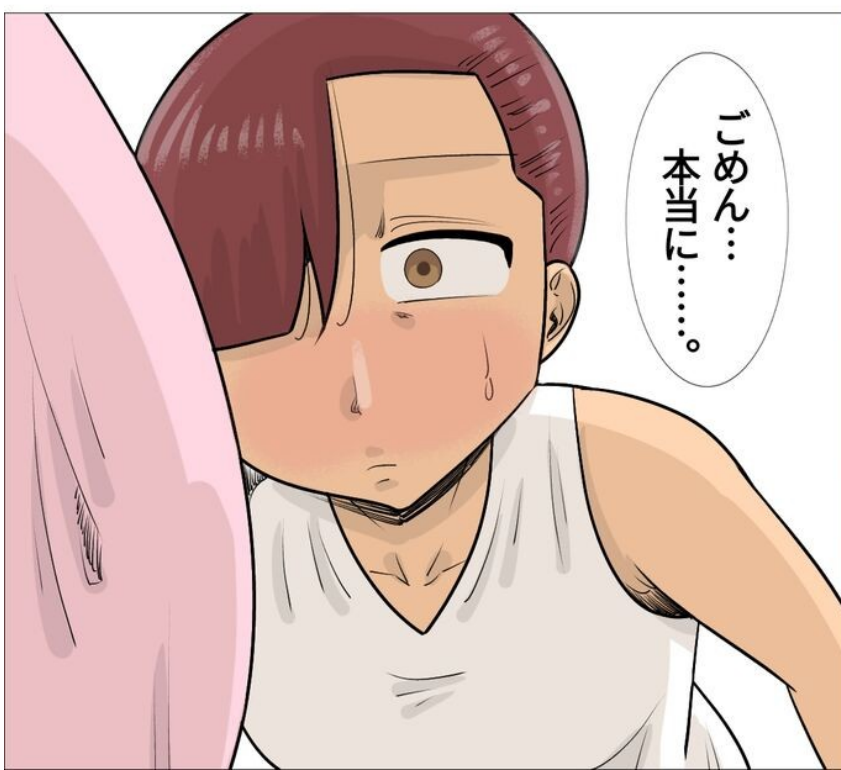
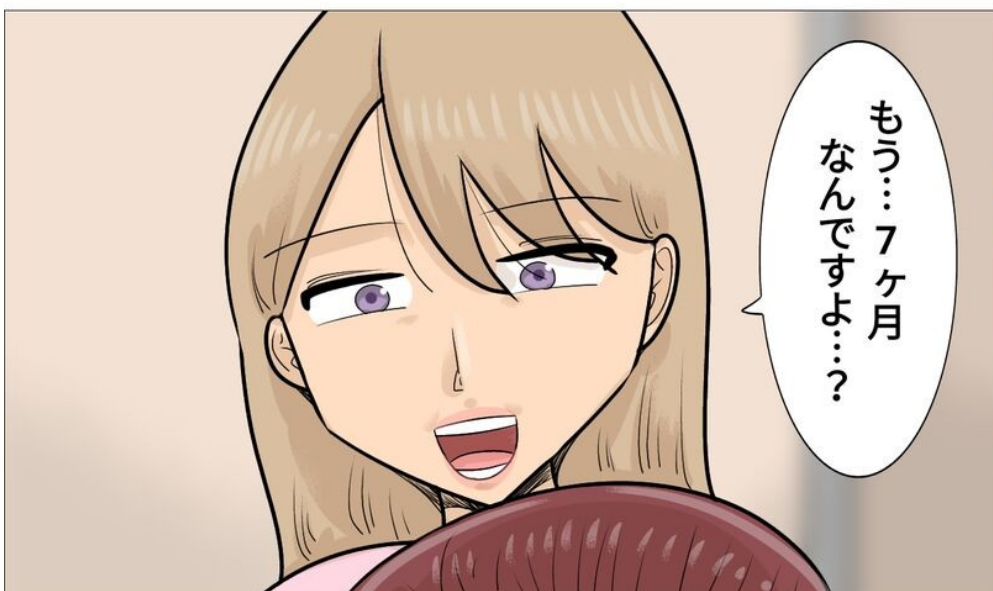
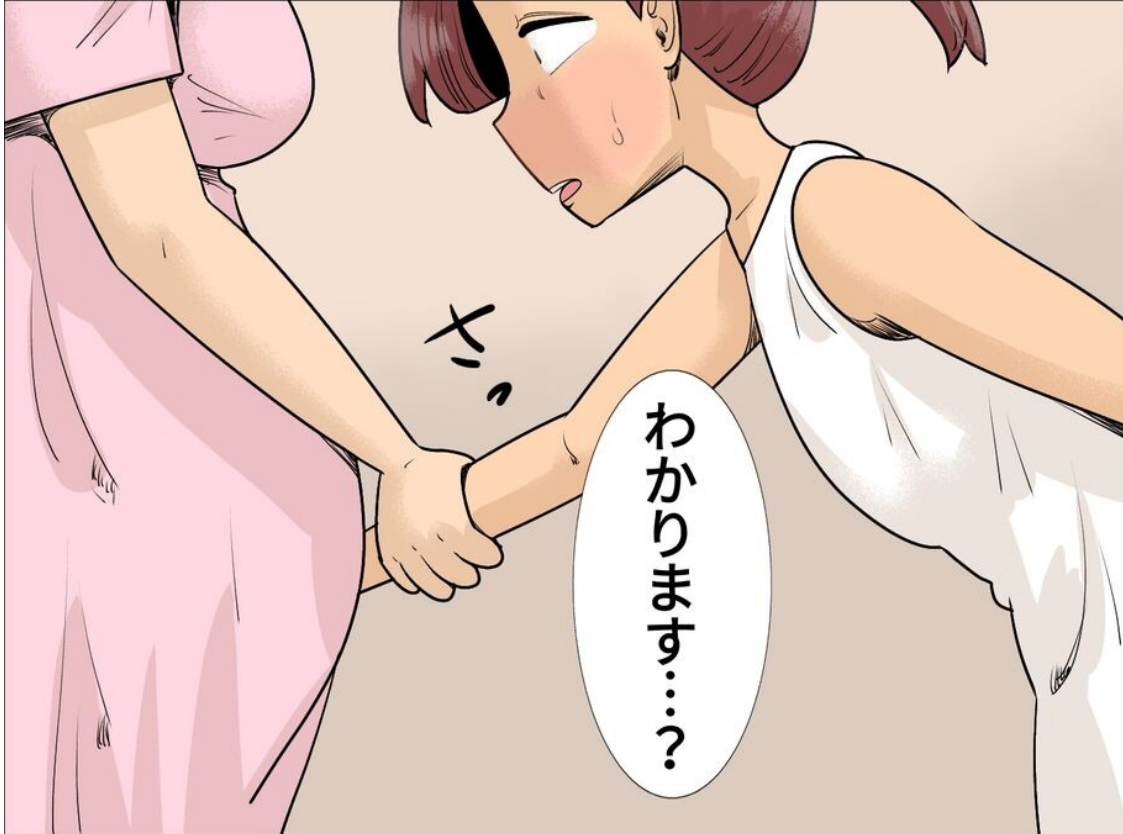
私……ヒロシさんの…
元気な赤ちゃん…
産みますね……。

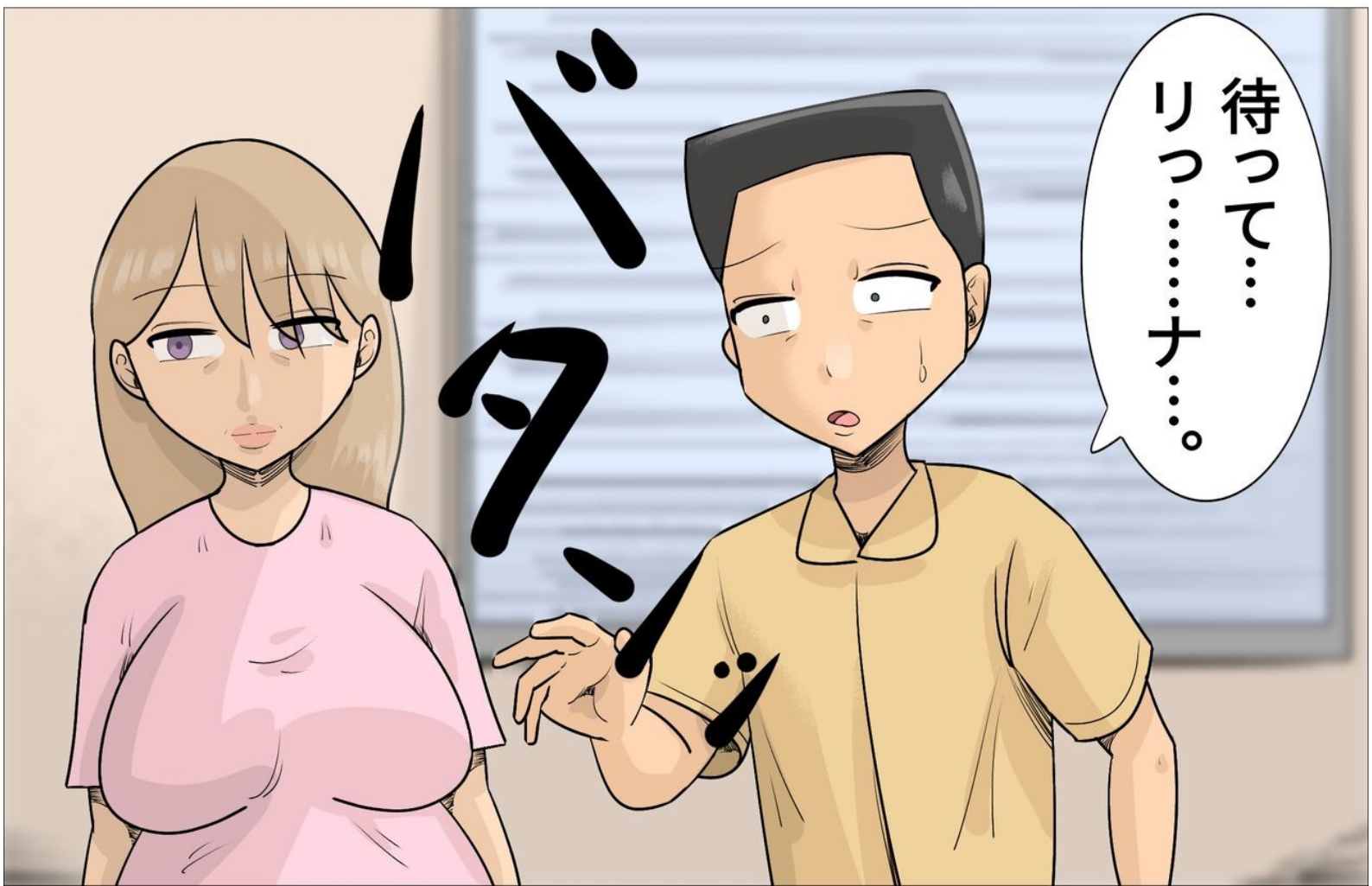
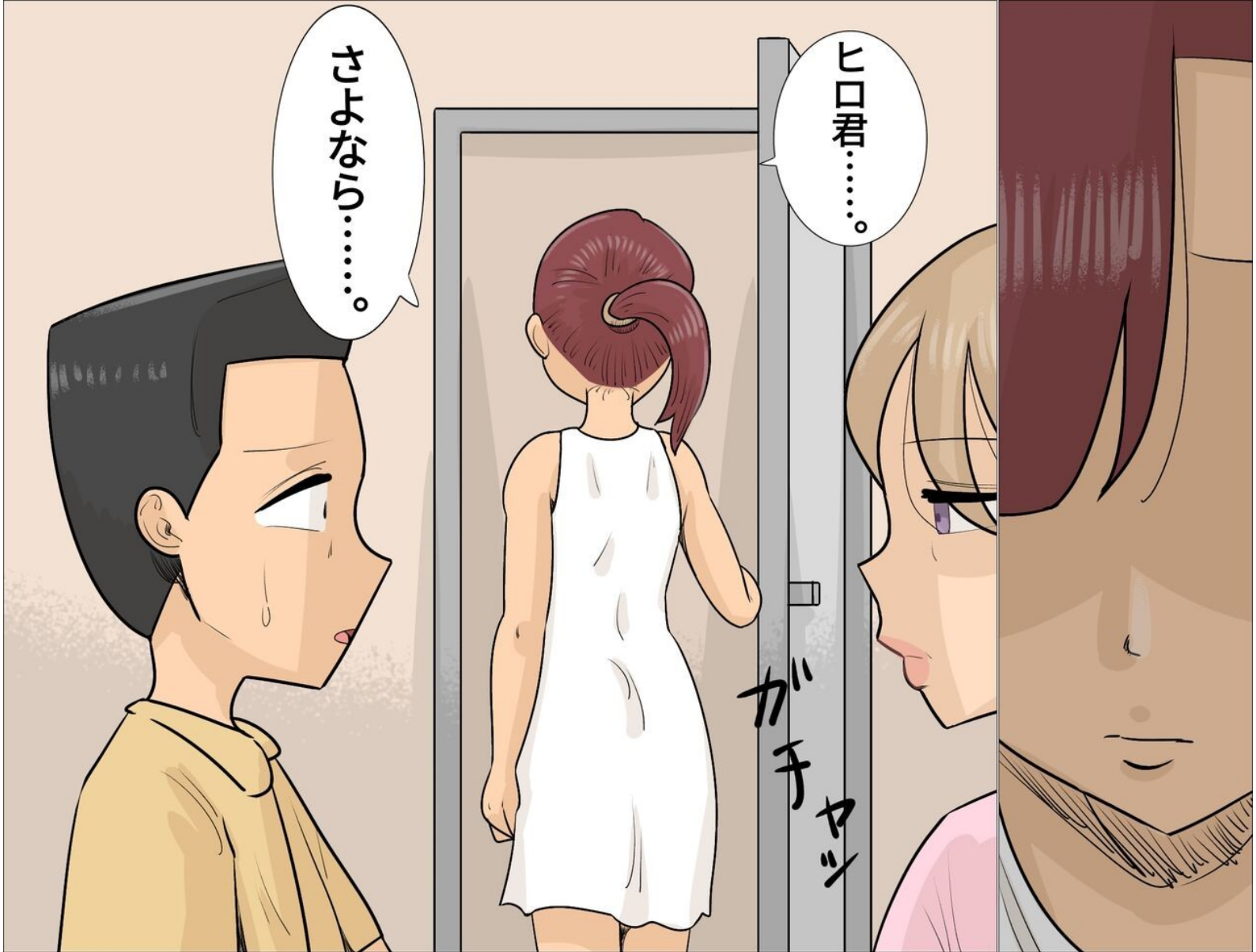
特殊なルールがある。
強制婚によって無理やり
別れることになってしまった
カップルは面会ができるのだ。

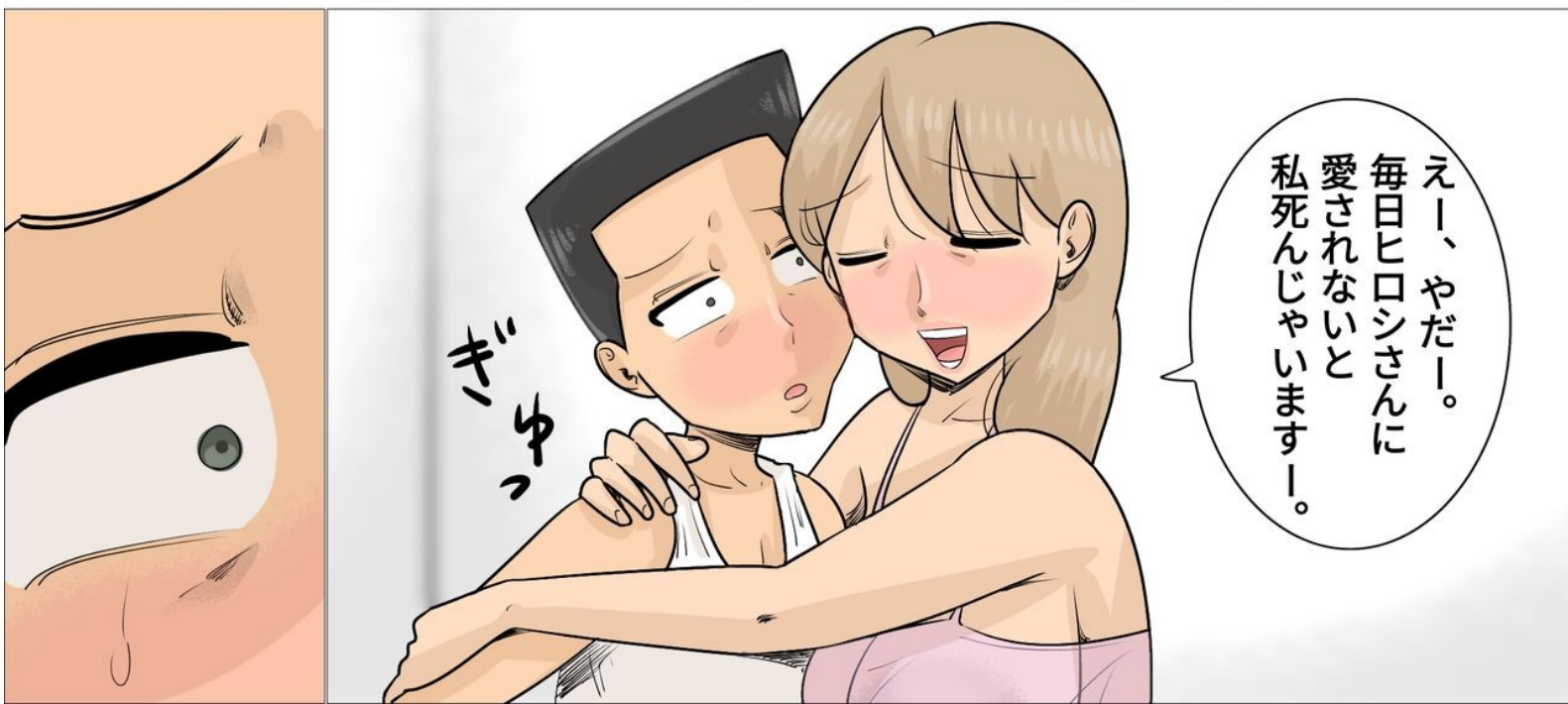
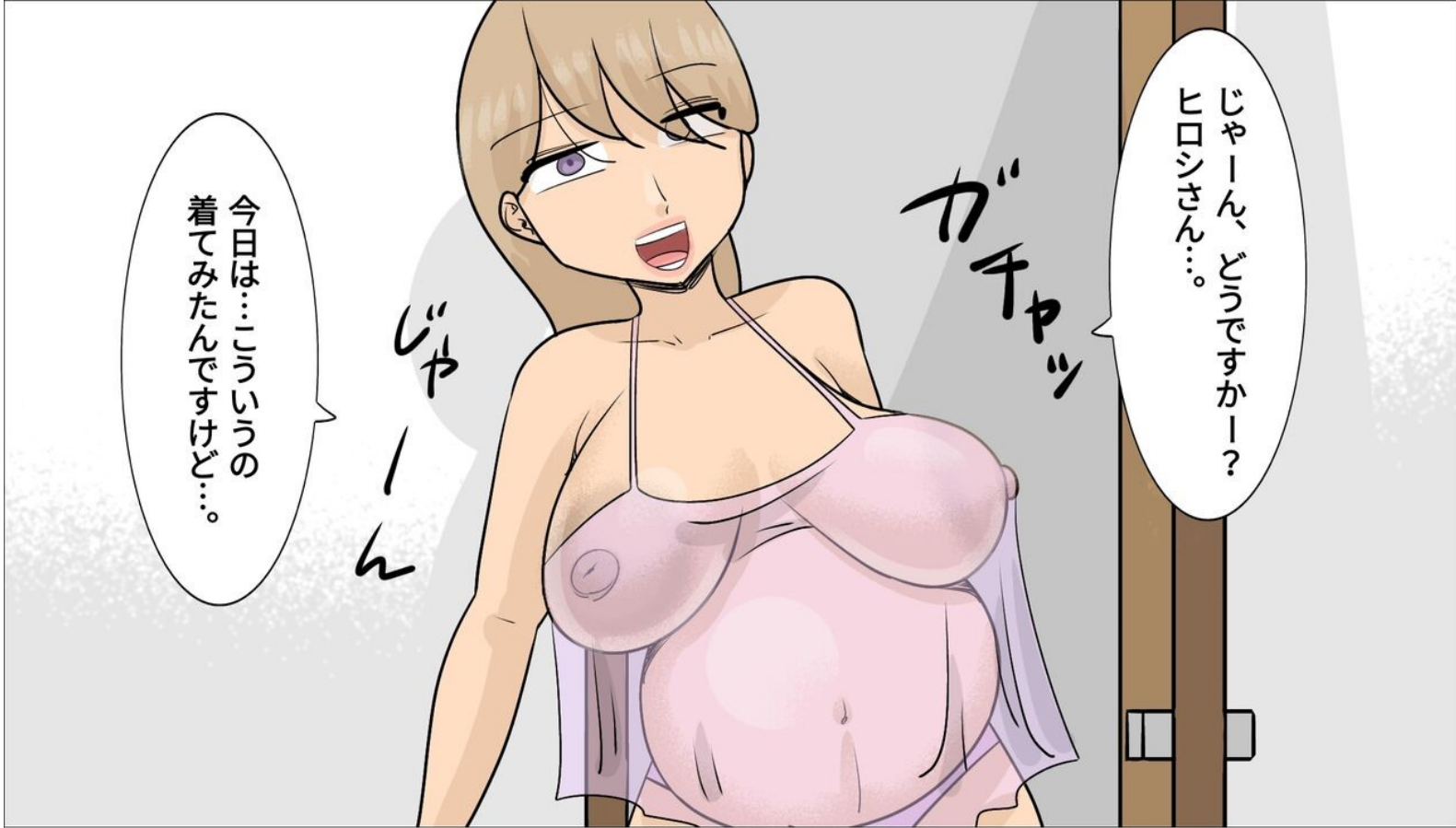
ヒロ君……
元気かな……。





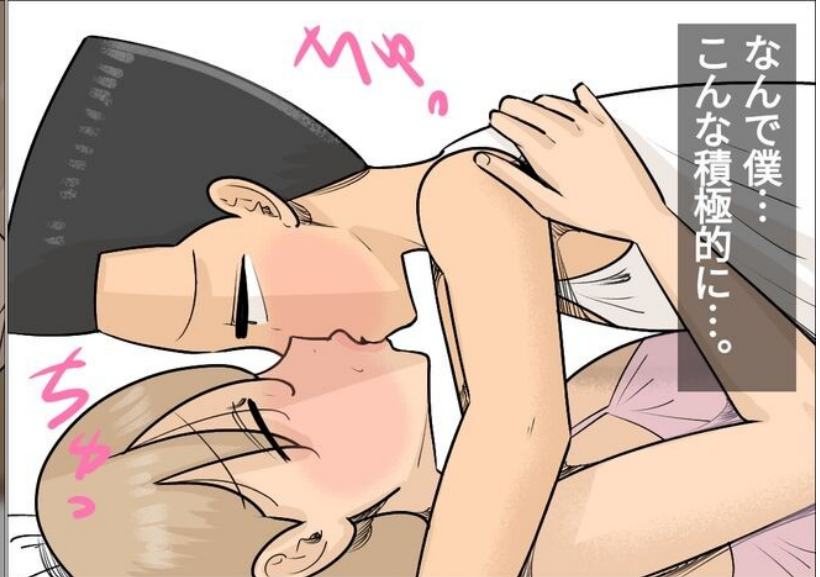




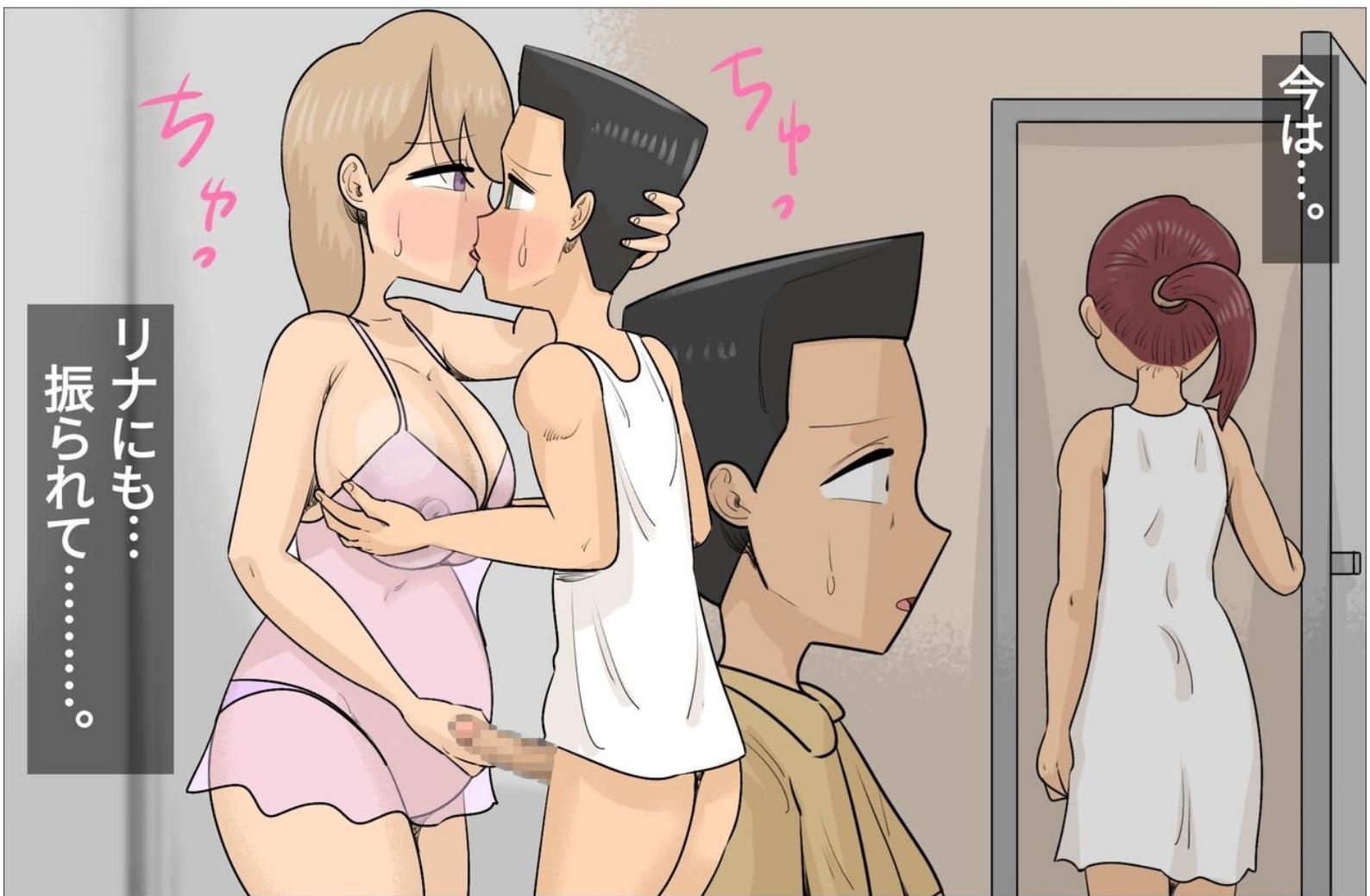




なんだろう... はじめは... ずっと...
リナと一緒にいたから... サエコさんに対して...
嫌悪感がなかったけど...

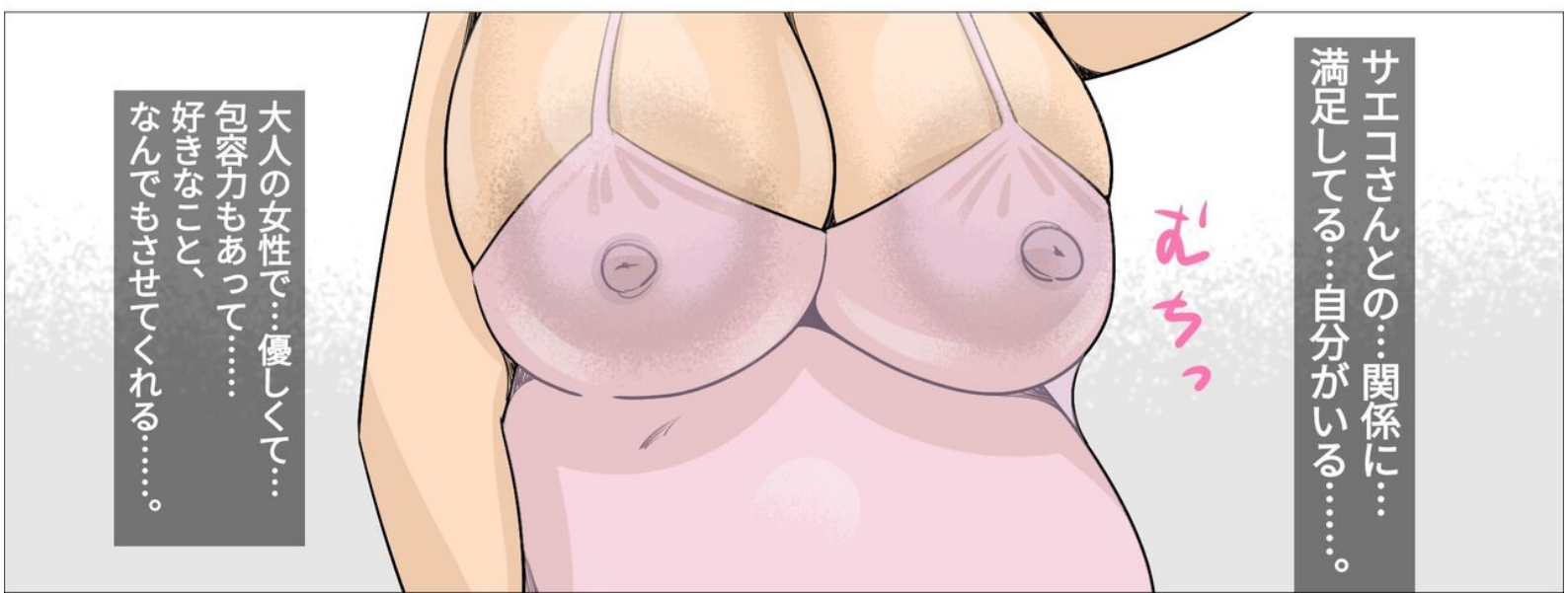


なんで僕...
こんな積極的に...。



今は...。

リナにも...
振られて.....。

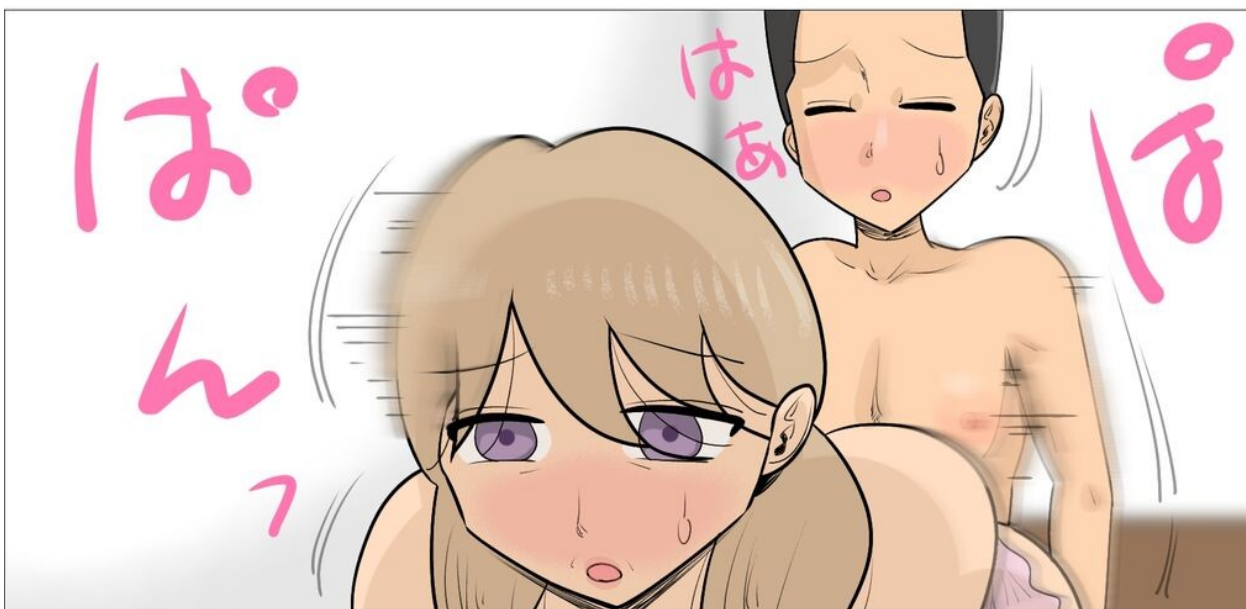


サエコさんとの... 関係に...
満足してる... 自分がいる.....。

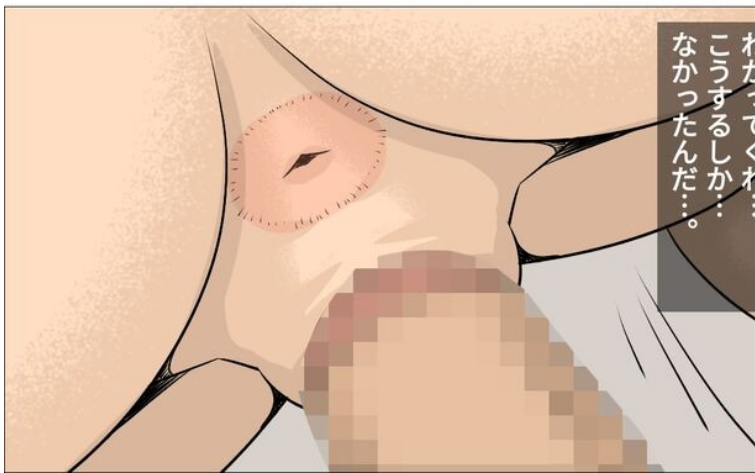
むちっ

大人の女性で... 優しくて...
包容力もあって...
好きなこと、
なんでもさせてくれる.....。

ヒロシさん…後ろから…
突いてくださいっ…。

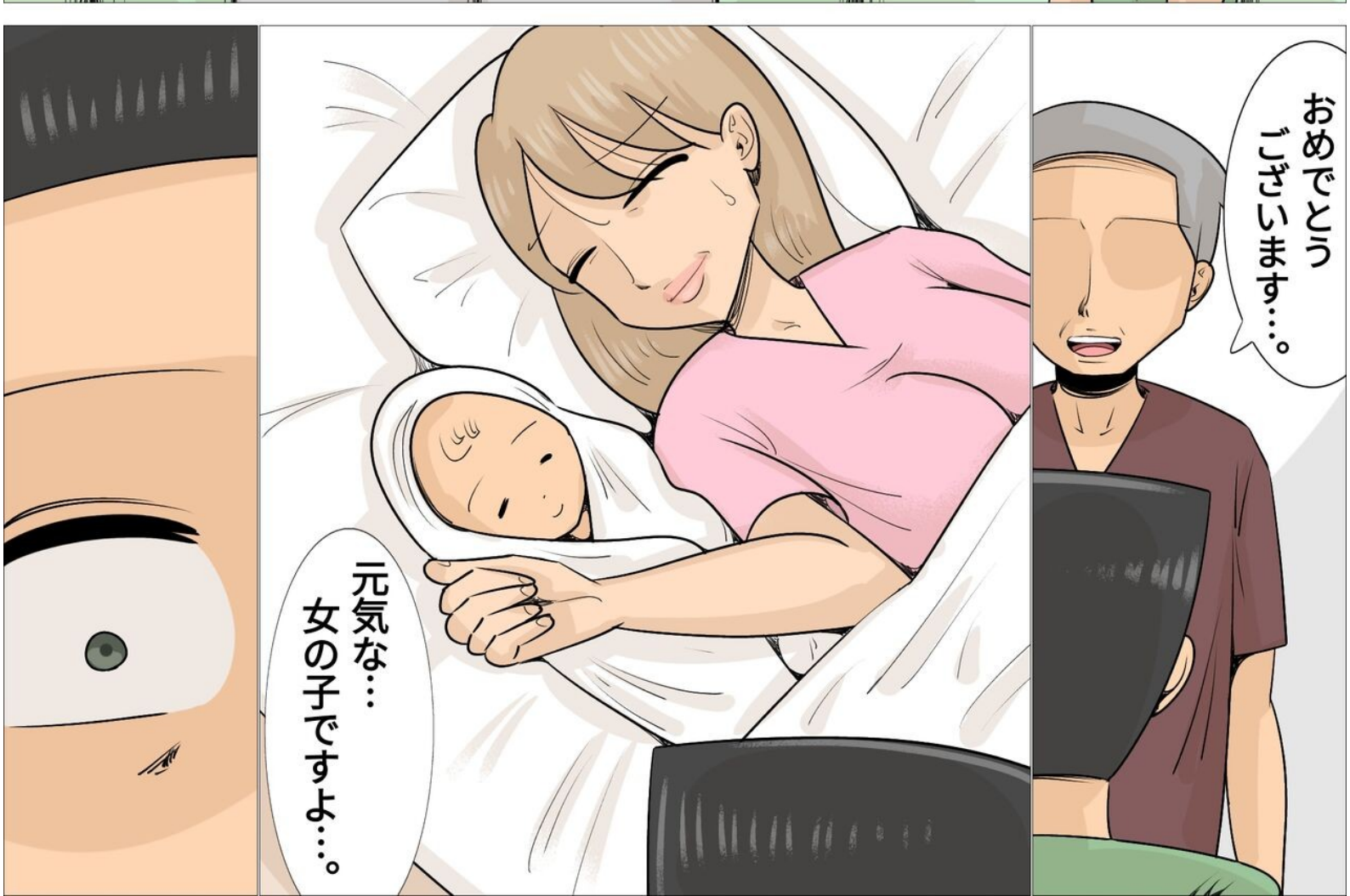


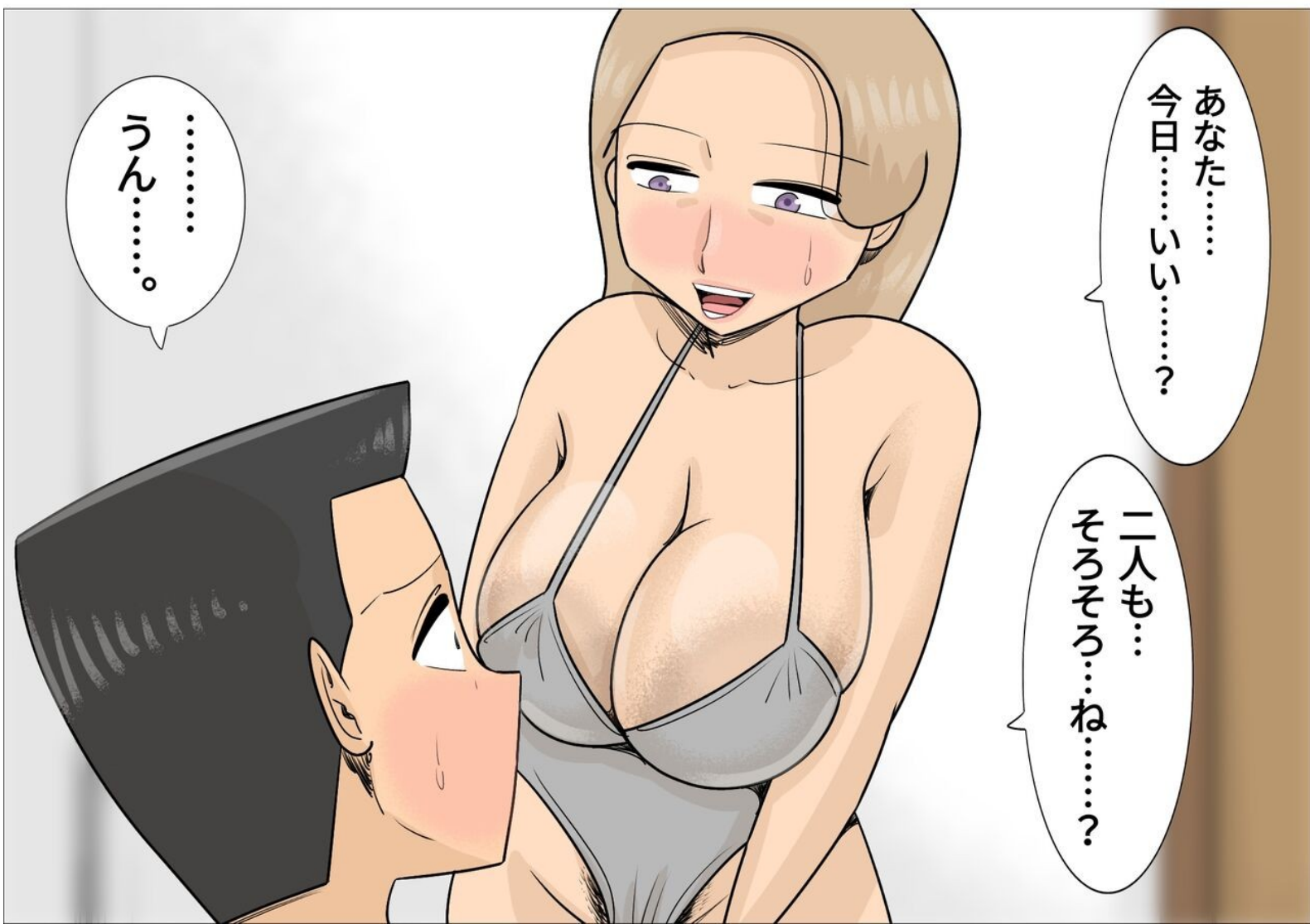
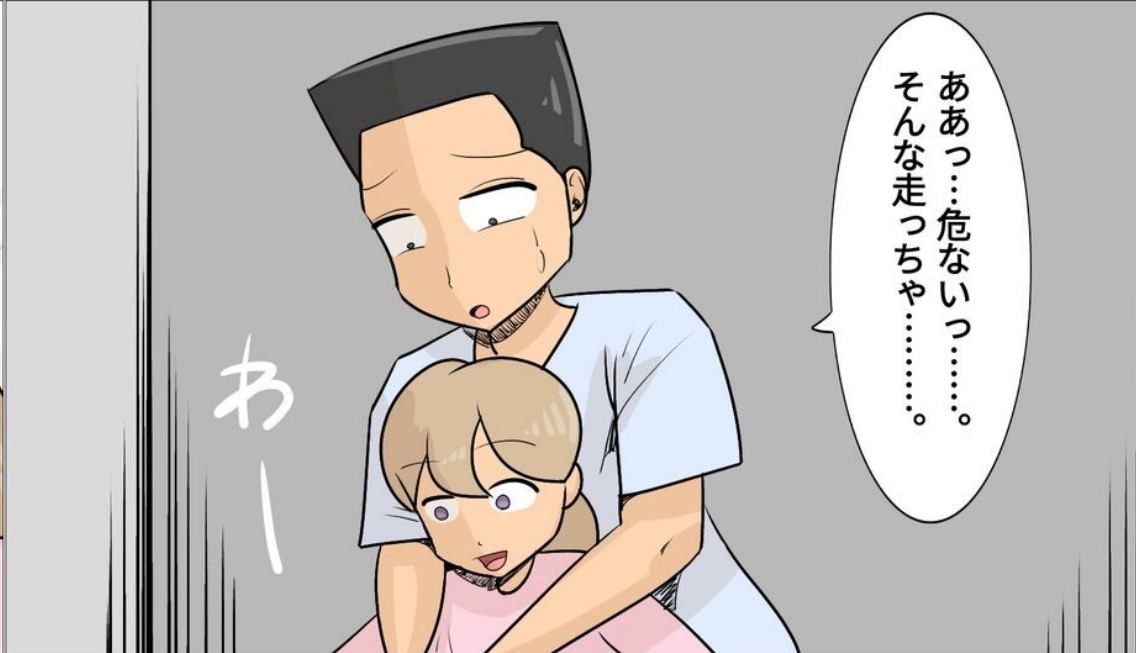
ダメだっ…ダメだっ…。
そんなこと考えちゃっ…。
僕はっ…。

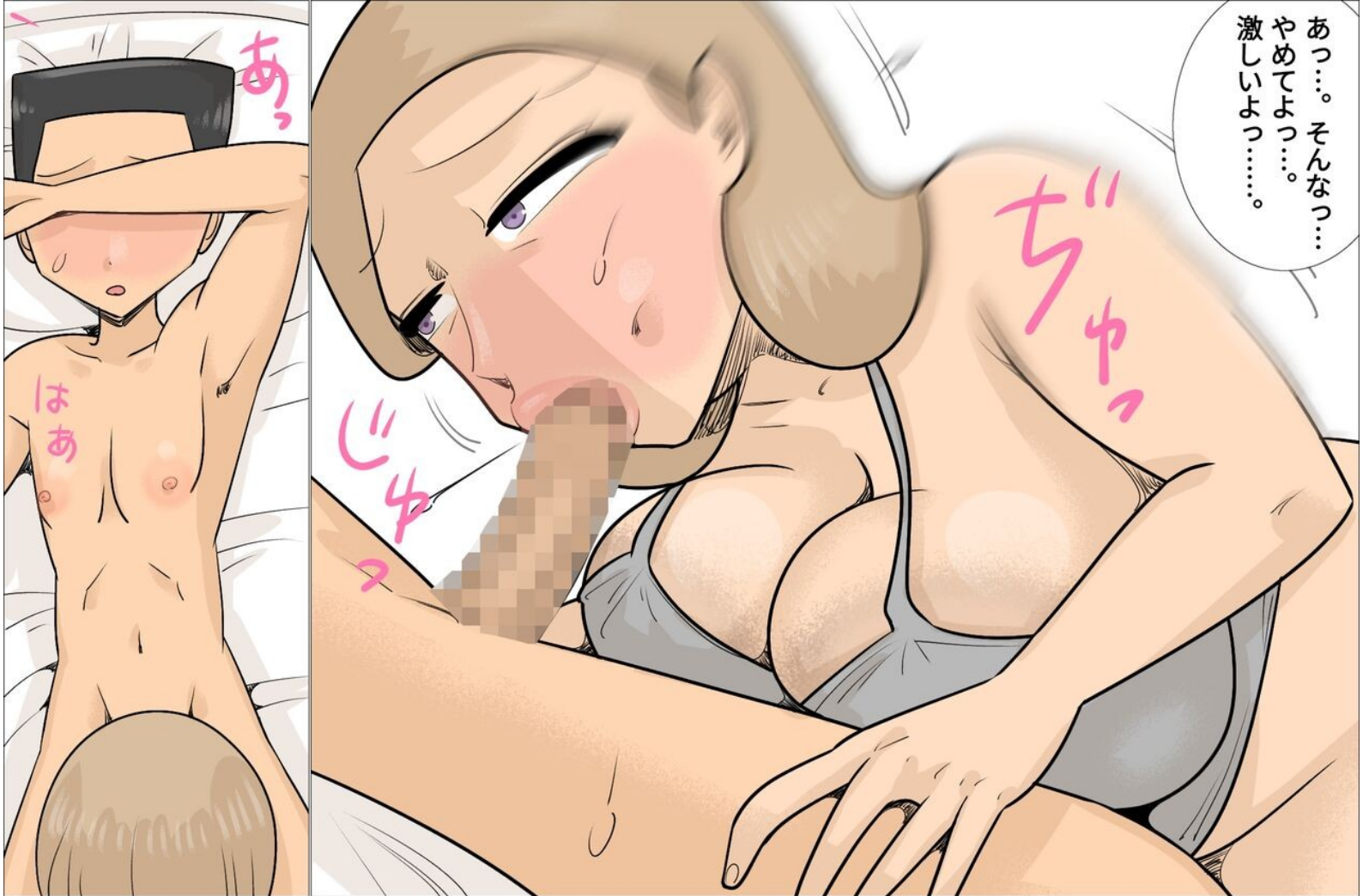


さよなら…。

リナっ…。
ごめんっ…だけど…。
わかってくれ…
こうするしか…
なかったんだ…。



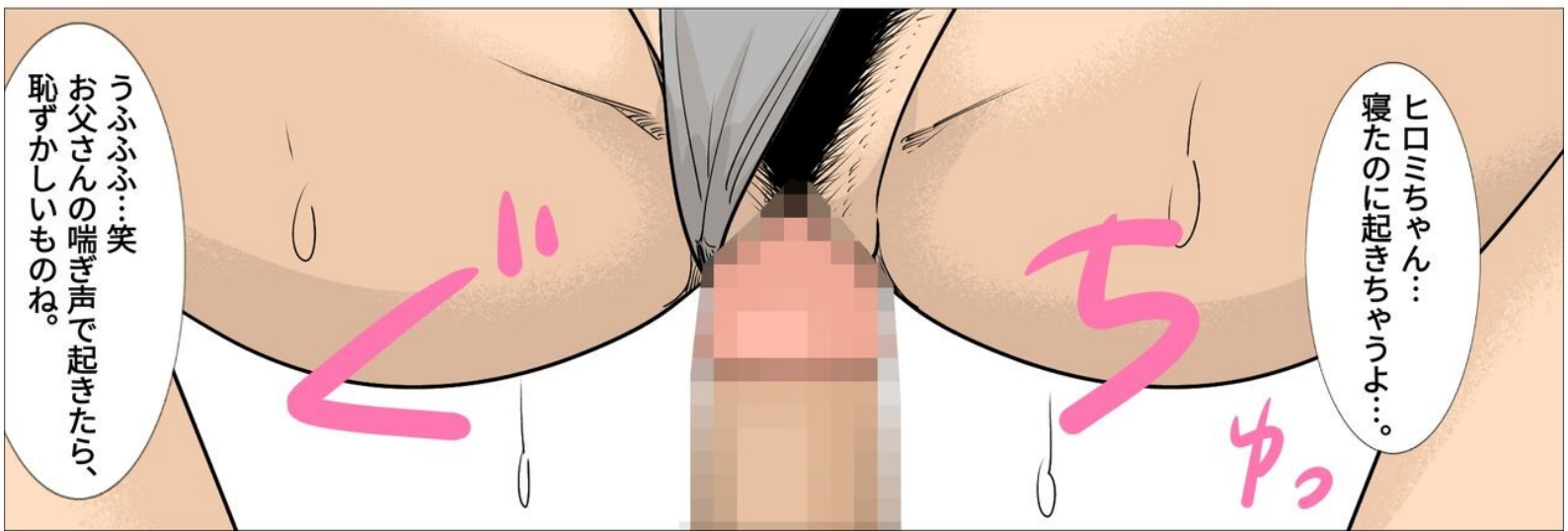




あっ…。そんなっ…
やめてよっ…。
激しいよっ…。



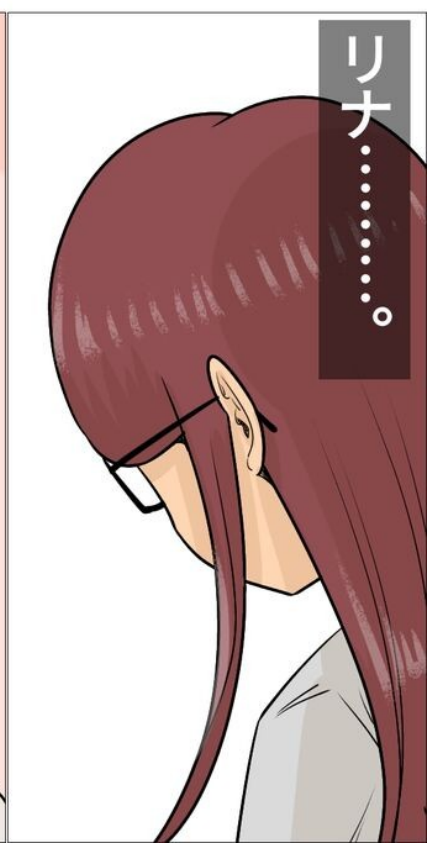
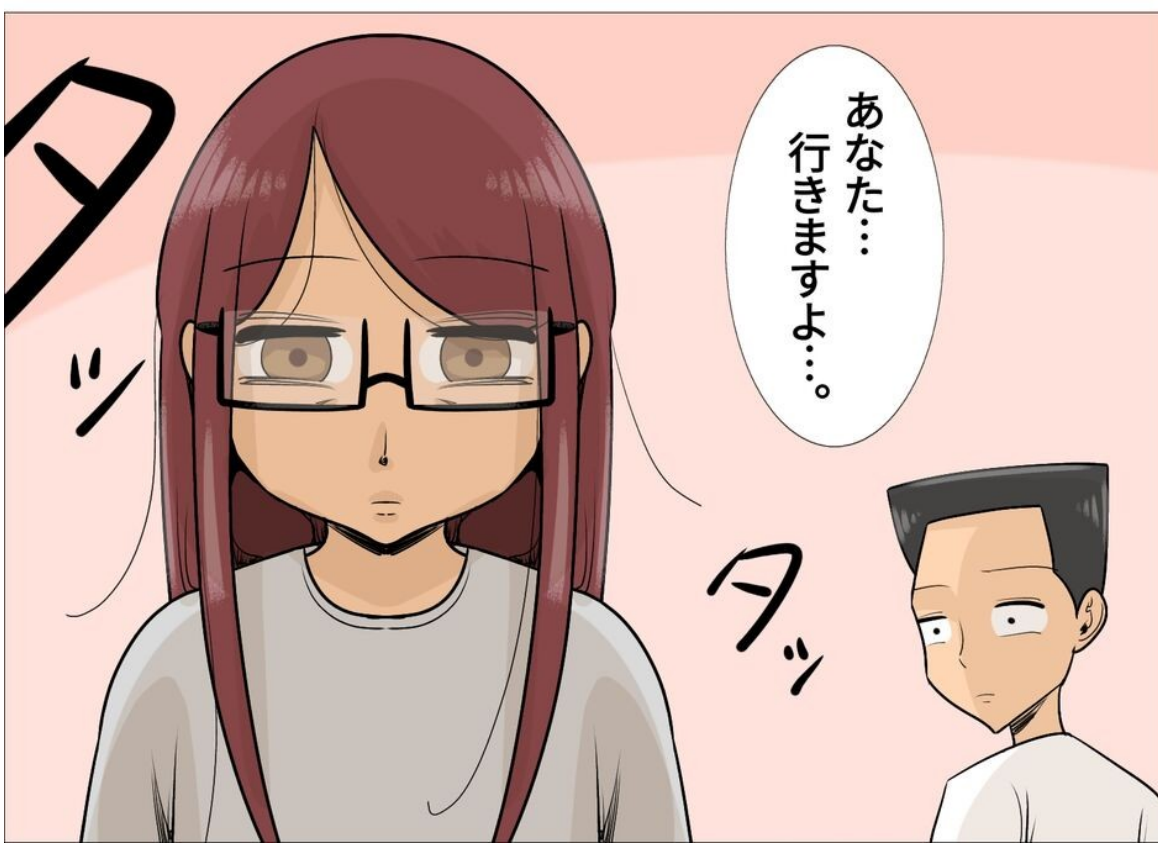
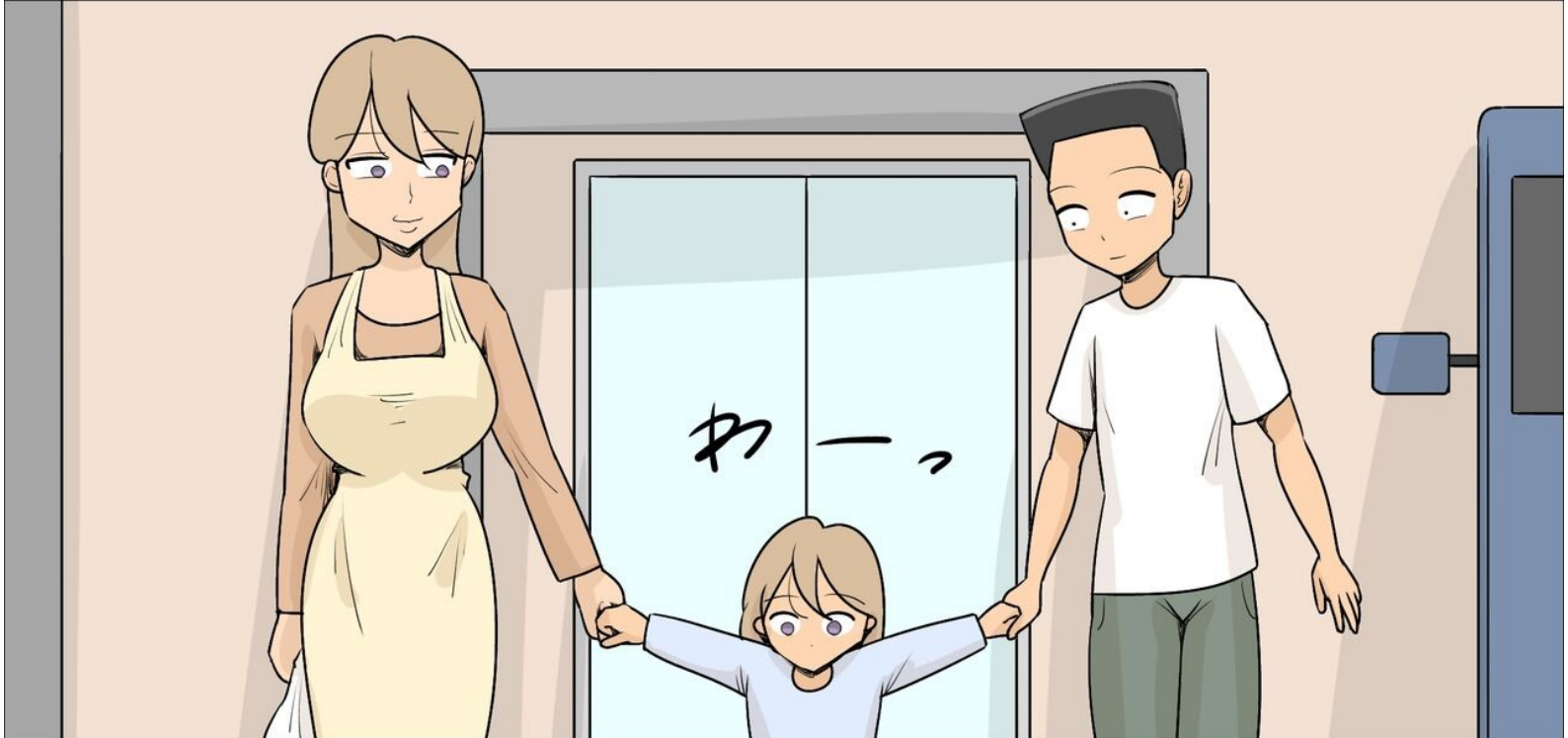
えへへ…
産後だからかな…？
なんか…すっごく…
性欲増しちゃうって…。



ヒロミちゃん…
寝たのに起きちゃうよ…。

うふふふ…笑
お父さんの喘ぎ声で起きたら、
恥ずかしいものね。





同人誌、購入してくれてありがとう！
他にもピクシブ、ツイッター、
シエン、ユーチューブをやっています！
チェックしてみてくださいね！

